Multimedia Storage Viewer™
P-2500

操作ガイド（基本編）

お使いになる前に

使ってみましょう

便利な機能

こんなときは

付録

Photo Fine 3.8inch Display
Home
Menu
Charge
OK
Cancel
Display
EPSON
Tag

―本書は製品の近くに置いてご活用ください―

このたびは、弊社製品「 Multimedia Storage Viewer™ P-2500 」をお買い上げいただきありがとうございます。本書および電子マニュアルには本製品を正しく安全にお使いいただくための使い方が記載されています。本書および電子マニュアルをよくお読みになり、内容をご理解の上、正しくお使いください。
また、本書は製品の不明点をいつでも解決できるように、いつでも見ることができる場所に、「保証書」とともに大切に保管してください。

マニュアルについて

本製品には次のマニュアルが同梱されています。

P-2500 操作ガイド（基本編）＜本書＞

ご購入後、初めてお使いになるときの準備や基本的な操作を説明しています。
また、本製品を使っていて困った状態になったときや、仕様の詳細、アフターサービスについてお知りになりたいときに、お読みください。

P-2500 操作ガイド（詳細編） ＜電子マニュアル＞

PDF 形式で、同梱の CD-ROM に収録されているマニュアルです。
基本的な操作を、注意点や補足説明を加え、より詳しく説明しています。さらに、本製品を使いこなしていただくための便利な機能や設定について説明しています。
電子マニュアルは、本製品付属のソフトウェアのインストール時に、同時にインストールされます。（☞ 本書 24 ページ「その他のソフトウェア・電子マニュアルのご紹介」）

電子マニュアルをご覧になるには、Adobe Reader が必要です。
パソコンに Adobe Reader がインストールされていない場合は、インストールする必要があります。本製品に同梱されている CD-ROM をパソコンにセットし、「カスタムインストール」でインストールしてください。（☞ 本書 26 ページ「ソフトウェアのインストール方法」）

本書中のイラスト／画面について

本書中に掲載している画面とイラストは P-4500 のものを使用していますが、操作は P-2500 と同じです。

本書中のマークについて

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。それぞれのマークには次のような意味があります。

マーク	意味	マーク	意味
！注意	必ず知っておいていただきたいことを記載しています。		知っておくと便利なことを記載しています。
	関連した内容の参照ページを示しています。		電子マニュアルの参照ページを示しています。

安全にお使いいただくために

本書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

表示	意味
⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

また、お守りいただく内容の種類を次の絵記号で区分し、説明しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

記号	説明	記号	説明
	この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。		この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
	この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。		この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
	この記号は、分解禁止を示しています。		

■本体の取り扱いについて

⚠警告		
煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。感電・火災の原因となります。		
異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。感電・火災の原因となります。		
本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。 故障・感電・火災の原因となります。		
ACアダプタを使用している場合は、雷が鳴り始めたら使用しないでください。感電の原因となります。その際、速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。		
連休や旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜き、バッテリを取り外してください。		
お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。分解や改造はしないでください。けがや感電・火災の原因となります。引火・爆発の原因となります。		
開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。感電・火災の原因となります。		
各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている通りの配線をしてください。配線を誤ると、火災のおそれがあります。		

⚠警告

布団などで覆った状態で使用しないでください。特に AC アダプタの周辺を覆わないようご注意ください。熱がこもってケースが変形したり、火災・感電のおそれがあります。

可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。（電源をオフにしてください。）
引火・爆発の原因となります。

歩行中や、自動車・オートバイ・自転車などを運転しながら使用しないでください。転倒・交通事故などの原因となります。

小さなお子さまの手の届く所には、設置、保管しないでください。
落ちたり、壊れたりして、けがをするおそれがあります。

液晶モニタが破損した場合は、中の液晶に十分注意してください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合は、付着物をふき取り、水で流し石鹸でよく洗浄してください。
- 目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合は、水で口の中をよく洗浄し、大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

はじめから大きな音量にしないでください。
突然大きな音が出て耳をいためるおそれがあります。

大きな音量で長時間聞かないでください。
聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。

航空機内や病院などの使用を制限された区域では、現場の指示（機内アナウンス等）に従ってください。

⚠注意

本製品を立てた状態で放置しないでください。
倒れると、本体の動作不良や故障の原因となります。

本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。
ガスが滞留して引火による火災などの原因となるおそれがあります。

本製品とコンピュータ（または他の機器）をケーブルで接続するときは、コネクタの向きを間違えないように注意してください。
各ケーブルのコネクタには向きがあります。本製品側およびコンピュータ（または他の機器）側の双方に、向きを間違えてコネクタを接続すると、接続した双方の機器が故障するおそれがあります。

■ AC アダプタの取り扱いについて

⚠警告

同梱の AC アダプタ（A351H）は本製品専用です。他の機器には使用しないでください。発煙や発火など危険な状態になる可能性があります。

本製品には必ず、付属の AC アダプタ（A351H）をお使いください。付属品（または指定品）以外を使用すると、電圧や端子の極性が異なることがあり、発煙や発火など危険な状態になる可能性があります。

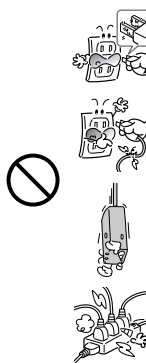
⚠警告

指定されている電源（AC100V）以外は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。取り扱いを誤ると火災の原因となります。

- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まないでください。
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。電源コードが破損したら、お買い求めの販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
- 電源コードは、コネクタ部を持って取り外してください。
- 電源コードを加工しないでください。
- 電源コードの上にものを載せないでください。
- 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- 電源コードが伸びきった状態では使用しないでください。
- 電源コードでACアダプタを吊り下げないでください。
- 電源コードやACアダプタのコネクタに、クリップなどの金属性のものを接触させないでください。
- 電源コードを熱器具の近くに配線しないでください。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。
- テーブルタップや分岐コンセントは使用しないでください。

⚠注意

電圧変動や電気的なノイズを発生する機器（大型モーターを使っている機器）の近くのコンセントをご使用しないでください。

万一、電源コードが傷んだ場合は、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店、またはエプソン修理センターにご連絡ください。

■バッテリの取り扱いについて

⚠危険

指定されたバッテリ（型番：PALB3）以外のバッテリは使用しないでください。
破裂・発熱・発火・液漏れのおそれがあります。

バッテリの分解は絶対にしないでください。
破裂・発熱・発火・液漏れのおそれがあります。

バッテリは絶対に外部短絡させないでください。また、金属製のネックレスやヘアピン等と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
発熱・発煙・発火・破裂したり、あるいは針金やネックレス、ヘアピンなどの金属が発熱する原因となります。

バッテリを火中または水中に投入しないでください。

発熱・発煙・破裂・発火・漏液の原因となります。

⚠危険

バッテリの端子にハンダ付けをしないでください。
発熱・破裂・発火・漏液の原因となります。

バッテリを火のそば、ストーブのそばなど高温の場所（60℃以上）で使用したり、放置しないでください。
発熱・破裂・発火・発煙の原因となります。

バッテリを火のそばや炎天下などで充電しないでください。
高温になると充電できなくなったり、発熱・発煙・破裂・発火の原因となります。

バッテリを他の機器で充電したり、他の機器や他の用途に転用しないでください。バッテリを損傷させたり、機器を損傷させたりすることがあります。

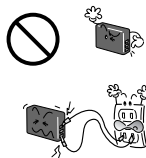
バッテリに釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
発熱・発煙・破裂・発火・漏液の原因となります。

バッテリを使用中、充電中、または保管中に異臭が生じたり、発熱したり、変色、変形、漏液、その他今までと異なることに気がついたときは、機器から取り外し、使用しないでください。
そのまま使用すると、発煙・破裂・発火の原因となります。

バッテリが漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で充分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因となります。

⚠警告

バッテリを取り扱う際は、次の点を守ってください。取り扱いを誤ると感電・火災の原因となります。

- バッテリの金属部分にはさわらないでください。
- 指定されているリチウムイオンバッテリ以外は使用しないでください。
- 小さなお子さまの手の届く所には、保管、放置しないでください。
- バッテリを電源コンセントや車のシガレットコンセントに直接接続しないでください。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
- 電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。

■ヘッドホンの取り扱いについて

⚠注意

長時間大きな音量で使用しないでください。
聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。ヘッドホン使用時に、自分の声が聞こえる程度の音量で使用してください。

自動車・自転車などを運転しながら使用しないでください。
転倒・交通事故などの原因となります。

正しくお使いいただくために

■本体の取り扱いについて

● 本製品は精密な機械、電子部品で作られています。次のような場所での使用や保管は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。
- 湿度変化の激しい場所
- 揮発性物質のある場所
- 水に濡れやすい場所
- ホコリや塵の多い場所
- 火気のある場所
- 強い磁気の近く（スピーカーの近くなど）
- 冷暖房機具に近い場所
- 温度変化の激しい場所
- 振動や衝撃のある場所

● 本製品は、以下の環境で使用してください。
- 温度 5 ℃～ 35 ℃（動作時）/ － 20 ℃～ 60 ℃（保管時）
- 湿度 30 %～ 80 %（動作時、非結露）/ 10 %～ 80 %（保管時、非結露）

※特に炎天下など、製品が高温になる場所では使用しないでください。

● 本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。動作不良や故障の原因となり、けがをするおそれがあります。本製品の持ち運びや保管の際は、付属のキャリングケースに入れてください。

● 本製品を立てた状態で放置しないでください。倒れると、本体の動作不良や故障の原因となります。

● 不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）や、他の機器の振動が伝わる所など、振動しがちな場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。

● 本製品の上に乗ったり、物を置かないでください。特に小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがをするおそれがあります。

● テレビ・ラジオに近い場所では使用しないでください。本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI ）基準に適合していますが、微弱な電波を発信しております。お近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。

■「つゆつき」について

寒いところから暖かいところへ急に持ち込むと、本製品の内部に水滴が生じる（結露する）ことがあります。内部に結露が生じた状態で使用すると故障することがあります。寒いところから暖かいところへ持ち込むときは、できるだけ本製品を密閉し周囲の温度になじませてから取り出してください。

■液晶モニタについて

● 画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

● 液晶モニタの汚れは、電源がオフになっていることを確認し、中性洗剤を染み込ませてしっかり絞った柔らかい布で軽く拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品は絶対に使用しないでください。

● AM ラジオやチューナーの近くでは使用しないでください。雑音電波の影響を受けることがあります。

■ハードディスクのご注意

● 本製品は精密電子機器ですので、強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境で使用・保管しないでください。データが壊れたり消失することがあります。

- データの書き込み、読み込み中に、振動を与えたり、メモリカードの抜き差しをしないでください。ハードディスクやメモリカードのデータが壊れたり、消失することがあります。
- 本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。また、持ち運び時に過度の衝撃を与えないようにご注意ください。内蔵ハードディスクが故障したり、データを消失・破損させるおそれがあります。
- 「削除」「消去」などを行った場合でも、ハードディスク上のデータは完全に消去されていません。本製品を譲渡・廃棄する際にデータが流出するおそれがあります。（☞ 本書 59 ページ「データをすべて削除したいとき」）
- 本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。身体からの静電気は、データを消失・破損させるおそれがあります。
- 本製品のハードディスクは絶対にフォーマットしないでください。フォーマットすると、製品が使用できなくなります。この場合の修理は有償になります。

■動作確認とバックアップのお勧め

本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。また、本製品やメモリカード内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。バックアップの方法については、「パソコンにデータをバックアップする」（☞ 本書 36 ページ）を参照してください。

次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。

・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
・本体に過度の衝撃が加わったとき
・誤った使い方をしたとき
・故障や修理のとき
・天災による被害を受けたとき

なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責も負いません。

データのバックアップ作業および復元作業は、弊社では行っておりません。お客様の責任の下、お客様ご自身で行っていただきますよう、お願いいたします。

■データをすべて削除したいとき

ハードディスクの特性上、「削除」「消去」などを行った場合でも、ハードディスク内のデータは完全に消去されてはいません。本製品を譲渡、廃棄する際にデータが流出するおそれがあります。本製品を廃棄するとき、譲渡するとき、貸すとき、修理に出すときなど、個人的な画像データを見られたくないときは、別途、市販のハードディスクのデータを完全に消去するツールを入手していただき、パソコンを使って対処されることをお勧めします。

■メモリカードを譲渡 / 廃棄するときのご注意

メモリカード（USB フラッシュメモリを含む）を譲渡 / 廃棄する際は、市販のデータ消去用ソフトウェアを使って、メモリカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。パソコン上でファイルを削除したり、フォーマット（初期化）したりするだけでは、市販のデータ復元用ソフトウェアで復元できる可能性があります。また、廃棄時には、メモリカードを物理的に破壊することもお勧めします。

■バッテリの取り扱いについて

- 購入時には十分に充電されていませんので、お使いいただく前に必ず充電してください。
- 本製品を使用していないときでも、バッテリは少しずつ放電しています。お使いいただく前にはバッテリを充電することをお勧めします。
- バッテリを長くもたせるためには、できるだけこまめに本製品の電源をオフにすることをお勧めします。
- バッテリの特性上、十分に充電された状態でも寒冷地では使用時間が短くなります。バッテリをポケットに入れて暖めたり、予備のバッテリを用意するなどしてください。なお、カイロなどをご使用になるときは、カイロがバッテリに直接触れないよう、ご注意ください。
- バッテリを充電するときは、事前に放電したり、使い切る必要はありません。
- 充電直後や使用直後は、バッテリが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 充電は、周囲の温度が5℃～35℃の場所で行ってください。低温で充電すると十分な充電ができません。また、高温で充電するとバッテリを劣化させるおそれがあります。
- このバッテリは、常温で使用した場合、約300回繰り返し充電することができます。(使用条件によって異なることがあります。)十分に充電しても使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリの寿命と考えられます。このときは新しいバッテリをお求めください。
- 不要になったバッテリは、捨てないで最寄りの充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。なお、バッテリパックは＋極、－極の金属端子部をテープなどで絶縁し、分解せずにリサイクル箱へお出しください。
  詳細については、社団法人電池工業会小型二次電池再資源化推進センターのホームページをご参照ください。
  ＜ http://www.JBRC.com ＞

Li-ion

■ ACアダプタの取り扱いについて

ACアダプタの取り外しは、必ず本体の電源がオフになっている状態で行ってください。(接続は、本体の電源がオンになっているときに行っても問題ありません。)

■ パソコンおよび周辺機器について

パソコン、プリンタなどの取り扱いは、各製品の取扱説明書をよくお読みになり、各メーカーが定める取り扱いに従ってください。

■ その他

- 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理等は有償で行います。

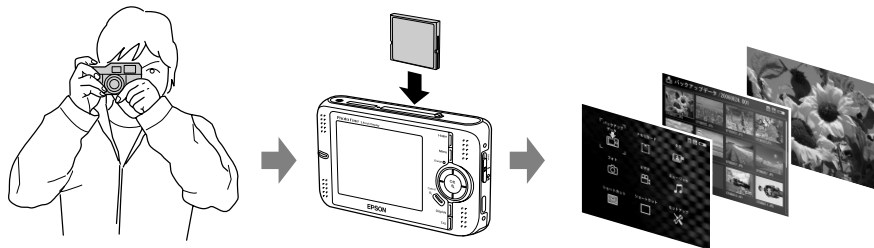
もくじ

本書の目次

電子マニュアルのもくじ

こんなことができます

フォトストレージとして使う（☞ 本書 31 ページ）

デジタルカメラで撮影した画像をその場でバックアップし、確認できます。
ハードディスクは 40GB を搭載、メモリカードの容量不足を解消します。
また、JPEG データは最大 30M ピクセルまで対応、各社 RAW データも簡易表示が可能です。

フォトビューワとして使う（☞ 本書 38 ページ）

3.8 インチ、640 × 480 ピクセルの高精細大画面。液晶モニタそのものの高密度化・高精細化を達成し、なめらかでリアルな画像の高画質表現が可能です。

★目的に合わせて表示のしかたを選べます。最大 400% 拡大で画質を厳しくチェックしたり、写真を選びたいときは最大 64 個の画像をサムネイル表示して見ることができます。

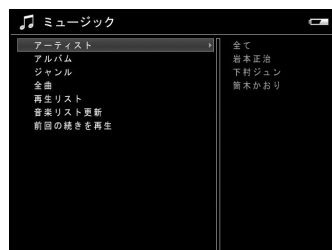
★ヒストグラム表示や、白飛び／黒つぶれ警告により、露出確認が簡単にできます。

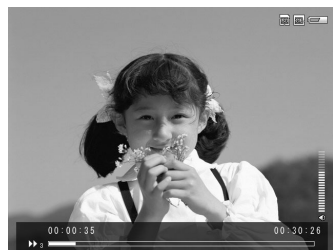
★気に入った画像をピックアップできるタグ（付箋）機能を使うと、画像の整理が簡単にできます。
（☞ 電子 79 ページ「アルバムを作成する」）

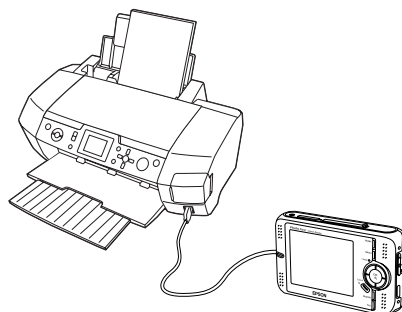
★いろいろな映像効果でスライドショーを楽しむことができます。その場で楽しむだけでなく、友人たちと画像データを持ち寄ってテレビで楽しむこともできます。また、BGM も設定することができます。

ポータブル音楽プレーヤーとして使う（☞ 本書 42 ページ）

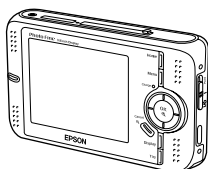
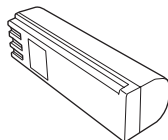
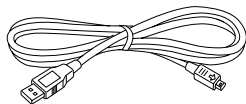
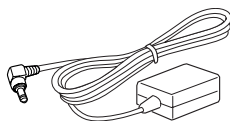
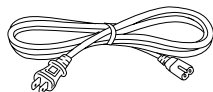
拡張子が「m4a」、「mp3」の音楽データを再生することができます。
再生リスト機能が搭載されており、聞きたい曲を、ジャンルやアーティスト名から絞り込んで探すことができます。
また、お好みの曲だけを集めてオリジナルの再生リストを作ったり、イコライザ機能を使って音質調整もできます。

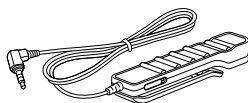
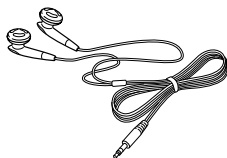
付属のソフトウェア「Epson Link2」を使うと、再生リストの編集も簡単です。

テレビに接続して画像を見る（☞ 本書 51 ページ）

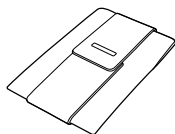
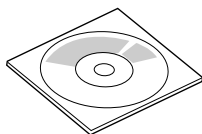
デジタルカメラで撮影した「Motion JPEG」や「MPEG4」形式（ISO 準拠）の動画を再生することができます。
また、DivX、MPEG1 / 2 の動画も再生することができます。
なお、テレビに接続して画像を見るには、ビデオケーブル（別売）が必要です。

プリンタに接続して画像を印刷する（☞ 本書 47 ページ）

プリンタ（USB DIRECT-PRINT 対応プリンタ）に直接接続して画像を印刷することができます。
静止画だけでなく、動画のコマを切り出して、連続写真のような印刷も可能です。

箱の中身を確認します

以下のものが同梱されていること、それぞれの部品に損傷がないことをお確かめください。万一不都合がございましたら、お買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。

□ 本体

□ リチウムイオンバッテリ
型番： PALB3

□ USB ケーブル
（パソコン、プリンタ接続用）

□ AC アダプタ本体

□ AC100V 用電源コード

□ ストラップ

□ リモコン

□ ヘッドホン

□ P-2500 操作ガイド
（基本編）＜本書＞

□ キャリングケース

□ CD-ROM

その他

□ 保証書

※このほかにも各種ご案内や試供品などが同梱されている場合があります。

本製品を持ち運ぶときや保管するときは、キャリングケースをお使いください。

各部のなまえとはたらき

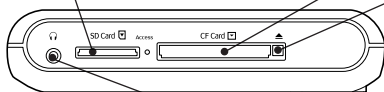
上面／正面

SD メモリーカードスロット

SD メモリーカード、MMC（マルチメディアカード）を挿入します。

CF カードスロット

CF カード、マイクロドライブを挿入します。

上面

CF カードイジェクトボタン

CF カード、マイクロドライブを取り出すときに押します。

ヘッドホン出力コネクタ（ステレオ）

ヘッドホンまたはリモコンを接続します。
（☞ 本書 17 ページ「リモコン・ヘッドホンの接続のしかた」）

【Home】ボタン

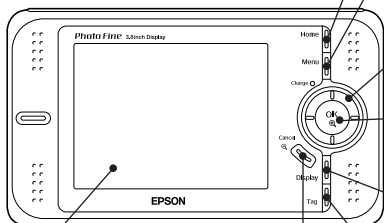
操作を中止して「ホーム画面」に戻るときに押します。

【Menu】ボタン

ポップアップメニューを表示するときに押します。実行できる操作項目が表示されます。

正面

【↑↓←→】キー（4-Way リング）

（4-Way：フォーウェイ）

項目を選択するとき押します。

【OK】ボタン

確定するとき押します。

【Display】ボタン

操作説明や画面の情報を表示するときに押します。

【Cancel】ボタン

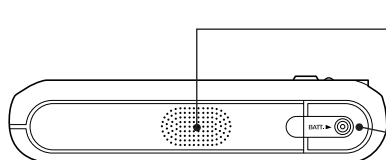
操作を中止するときや 1 つ前の画面に戻るときに押します。

【Tag】ボタン

画像データにタグをつけるときに押します。

3.8 型高精細液晶モニタ

操作画面や画像データを表示します。

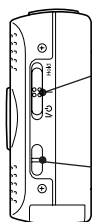
底面

スピーカー

操作音、動画の音声、音楽を再生します。

バッテリカバー

バッテリを挿入します。

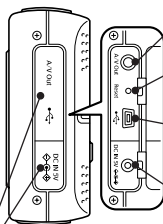
側面

右側面

電源スイッチ

（ホールド機能付）
電源をオン／オフします。また、他のボタン操作を受け付けないようにすることができます。

ストラップ取付部

ストラップを取り付けます。

左側面

ゴムカバー

ビデオ出力コネクタ

ビデオケーブル（別売）を接続します。

リセットボタン

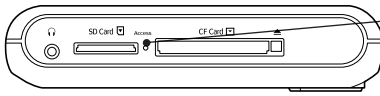
押すと、本製品が再起動します。本製品の動作が不安定になったときに押します。
（☞ 本書 58 ページ「リセットのしかた」）

USB インターフェイスコネクタ

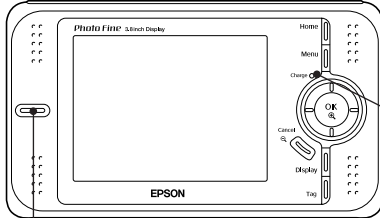
（USB2.0 ハイスピード対応）
USB ケーブルを接続します。

AC アダプタコネクタ

AC アダプタを接続します。

ランプ部

アクセスランプ（オレンジ）

メモリカードへのアクセス状況を示します。

- 点灯： アクセス中です。
- 消灯： アクセスしていません。

充電ランプ（グリーン）

バッテリ充電時の状態を示します。

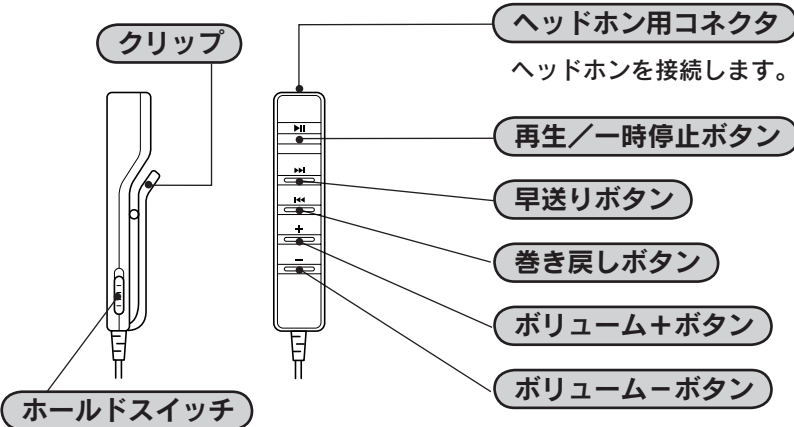
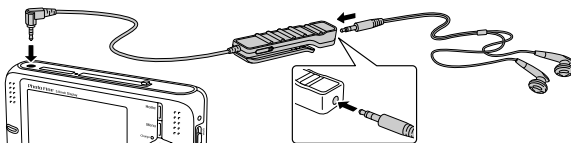
- 点灯： 充電中です。
- 消灯： 充電が完了しました。

イルミネーションランプ（ブルー）

動作状態を示します。

- 点滅： 本体起動中、印刷中、データ処理中、音楽再生中、パソコンアクセス中、省電力機能による液晶モニタオフ中
- 消灯： 上記以外の状態

リモコン

ヘッドホン用コネクタ：ヘッドホンを接続します。

■リモコン・ヘッドホンの接続のしかた

※リモコンを使わないときは、ヘッドホンのジャックをビューワ本体のヘッドホン出力コネクタに直接差し込んでください。

お使いになる前に

バッテリを充電する

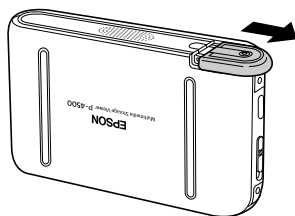
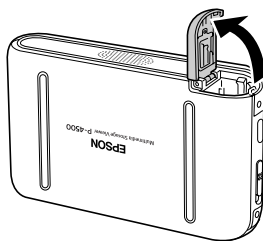
バッテリを本体にセットして、AC アダプタを接続しましょう。自動的に充電が始まります。

!注意

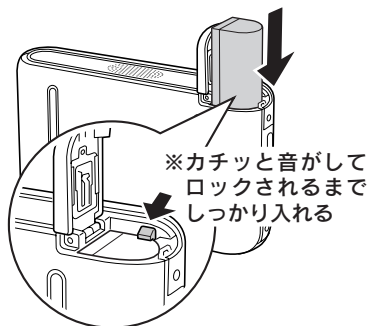
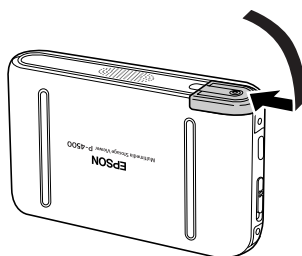
本製品は専用のバッテリ（型番：PALB3）と AC アダプタ以外使用できません。
- 付属のバッテリと AC アダプタは、他の機器や他の用途に使用しないでください。
- 付属のバッテリは必ず本製品で充電してください。（本製品以外の機器で充電しないでください。）
- バッテリの向きに注意してセットしてください。逆向きのまま無理に押し込むと故障の原因となります。

バッテリをセットする

以下の手順でバッテリを本体にセットします。

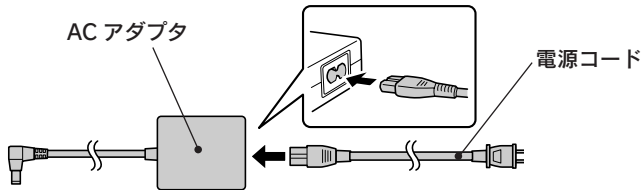
1 バッテリカバーを外側へずらします。

2 バッテリカバーを開けます。

3 端子部が奥になるようにバッテリを入れます。

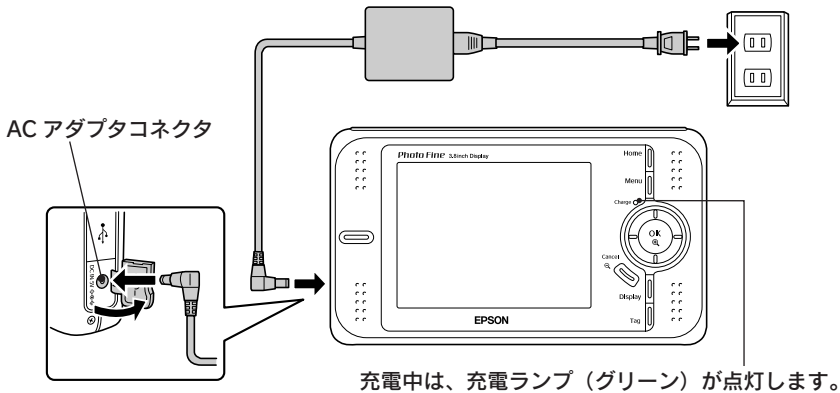
4 バッテリカバーを閉じます。

参考

バッテリを取り外すときは、ロック部分を押すと、ロックが外れます。3 のバッテリをセットする矢印と逆に、バッテリを引き抜きます。

バッテリを充電する

以下の手順でバッテリを充電します。AC アダプタを接続すると、充電ランプが点灯し自動的に充電が始まります。充電ランプが消灯したら、充電完了です。満充電時の使用時間については、「本製品の仕様」（☞ 本書 65 ページ）を参照してください。

1 AC アダプタと電源コードを接続します。

2 AC アダプタのジャックを AC アダプタコネクタへ差し込みます。

3 プラグをコンセントへ差し込みます。

●充電時間：約3.5時間（非動作時）

!注意

- バッテリの端子が汚れていたり、本製品の温度が高い場合、充電されない（充電ランプが点灯しない）ことがあります。この場合は本書 54 ページに従って対処してください。
- AC アダプタを接続する前に、必ずバッテリをセットしてください。AC アダプタのみで使用すると、停電や不意の電圧低下によりハードディスクが壊れる可能性があります。

参考

動作中の充電時間は非動作時よりも長くなります。

AC アダプタを接続して使うときは

本製品は、AC アダプタを接続して使用することができます。
以下の場合は、必ず AC アダプタを接続してください。不意のバッテリ切れ（電圧低下）などにより本製品のハードディスクが壊れる可能性があります。

- 印刷時
- パソコン接続時

また、音楽リスト更新時は時間がかかる場合がありますので、AC アダプタを接続して使用することをお勧めします。

バッテリ残量を確認するには

バッテリ残量は、画面右上のバッテリマークで確認できます。状況に応じて、充電してください。

バッテリマーク

:バッテリ残量が半分以上あります。

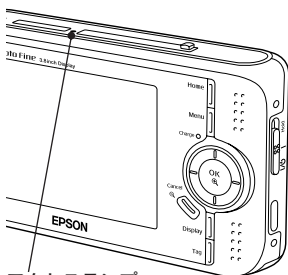
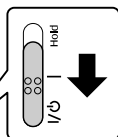
:バッテリ残量が半分以下です。

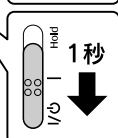
:バッテリ残量がほとんどありません。AC アダプタを接続して充電してください。

:充電中です。

電源のオン／オフ

バッテリをセットして AC アダプタを接続したら、電源をオンにしてみましょう。

※初めて本製品の電源をオンにしたときは、表示言語の設定画面が表示されます。「最初に電源を入れたときは」（☞ 本書 23 ページ）の手順に従って、表示言語と日時の設定を行ってください。

電源をオンにする

スイッチを下に押し下げる

電源をオフにする

スイッチを下に 1 秒以上押し下げる

リモコンで電源をオフにする

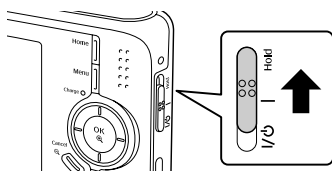
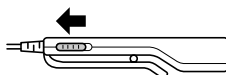
【再生／一時停止】ボタンを約 5 秒長押しする
※リモコンでは電源をオンにできません。

> **! 注 意**
>
> アクセスランプ（オレンジ）が点灯しているときに電源スイッチを押し下げた場合は、ファイルへのアクセスが途切れた時点で電源がオフになります。

ホールドスイッチの使い方

スライドショーや音楽再生時など、他の操作を受け付けないようにボタン操作を無効にすることができます。（ホールド機能）

ボタン操作を無効にする

＜本体＞　スイッチを上に押し上げる

＜リモコン＞

本体のホールドスイッチがホールド状態のときは、画面右上にホールドマーク（ Hold ）が表示されます。

> **参考**
>
> ホールドスイッチは、本体、リモコンそれぞれ独立して動作します。
> - 本体のスイッチがホールド状態　：本体は操作できません（リモコンは操作できます）。
> - リモコンのスイッチがホールド状態：リモコンは操作できません（本体は操作できます）。

省電力機能について

本製品はバッテリの無駄な消耗を防ぐため、省電力機能を備えています。AC アダプタを接続していないときに何も操作しない状態が一定時間続くと、省電力機能の設定（☞ 電子 103 ページ「省電力」）に応じて自動的に、液晶モニタが暗くなったり、液晶モニタや電源がオフになったりします。購入時は、1 分で液晶モニタが暗くなり、5 分で液晶モニタオフ、10 分で電源がオフになるよう設定されています。

液晶モニタがオフになっているときは、イルミネーションランプが青く点滅し、省電力機能が働いていることを示します。
【OK】または【Cancel】など、電源スイッチ以外のいずれかのボタンを押すと、復帰します。

参考

- 音楽再生中は液晶モニタはオフになりますが、電源はオフになりません。
- AC アダプタ接続時や、スライドショー、動画再生時は、省電力機能は働きません。
- パソコン接続時やビデオ出力コネクタ接続時は、液晶モニタはオフになります。省電力機能は働きません。

スクリーンセーバーについて

AC アダプタ接続中に何も操作しない状態が一定時間続くと、スクリーンセーバーとしてスライドショーが開始されます。
スクリーンセーバーが開始されるのは、以下の画面が表示されているときです。

- ホーム画面
- データ一覧画面（サムネイル大、サムネイル小、リスト表示）

以下の操作を行うと、スクリーンセーバーは終了し、開始前の状態に戻ります。

- いずれかのボタンを押す
- AC アダプタ・AV ジャック・ヘッドホンジャックを抜き差しする
- メモリカードを抜き差しする

参考

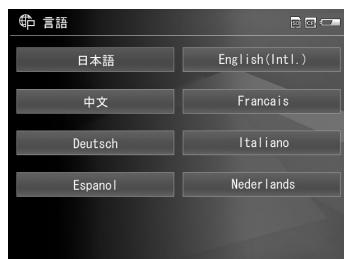
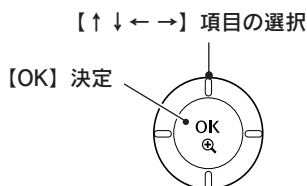
- 購入時は、3 分経過するとスクリーンセーバーが開始されるよう設定されています。スクリーンセーバー開始までの時間は変更できます。（☞ 電子 104 ページ「スクリーンセーバー」）
- スクリーンセーバーの画像は、保存されている静止画データからお好きな画像を選んで設定することもできます。（☞ 電子 86 ページ「スクリーンセーバーの画像を設定する」）

最初に電源を入れたときは

初めて本製品の電源をオンにしたときは、表示言語を設定する画面が表示されます。以下の手順に従って、表示言語と日時を設定してください。

1 表示言語を設定します。

①【↑ ↓ ← →】で言語を選びます。

②【OK】を押して、決定します。

言語を設定すると、日付と時刻を設定する画面が表示されます。

2 日付と時刻、表示形式を設定します。

①【↑ ↓】で設定する項目（年／月／日／時／分／日時表示形式）に移動し、【OK】または【→】を押します。

②【↑ ↓】で数値を変更します。
日時表示形式は、年月日／月日年／日月年から選びます。

③【OK】を押して、決定します。

3 設定し終わったら、【Cancel】を押します。

ホーム画面が表示されます。

日付・時刻を修正するには

間違えて設定してしまった場合は、セットアップ画面で変更できます。
操作のしかたは、「セットアップ画面で設定する」（☞ 電子 98 ページ）を参照してください。

！注意

表示言語を設定した後は、不用意に言語を変えないようにしてください。
言語の設定を変更すると、ファイルやフォルダにアクセスできなくなることがあります。

参考

長期間使用せずに保管していた場合も、電源を入れたときに日時の設定が必要になることがあります。（☞ 本書 59 ページ「長期間使用しないとき」）

ソフトウェアをインストールする

本製品には、パソコンとビューワ間のデータ転送などを行うためのソフトウェア「Epson Link2（エプソン リンクツー）」が同梱されています。
パソコンとビューワ間でデータのやりとりをされる方は、このソフトウェアをパソコンにインストールしてください。

Epson Link2 のご紹介

Epson Link2 は、ビューワとパソコンの間を取りもつ（リンクする）アプリケーションソフトです。
- ビ ューワからパソコンへのデータのバックアップも、このソフトウェアを使うことで簡単にできます。
- パソコンのフォルダから、静止画データや動画データ、音楽データを選択して転送できます。
- ビューワが接続されていないときでも転送の準備ができ、接続後にまとめて転送できます。
- ビ ューワに転送した音楽データは、Epson Link2 からの操作でリストごとに曲順の変更や曲の追加などができます。

パソコンと接続して使われる方は、「ソフトウェアのインストール方法」（☞ 本書 26 ページ）の説明に従ってインストールしてください。

その他のソフトウェア・電子マニュアルのご紹介

CD-ROM には、Epson Link2 のほかに、P-2500 操作ガイド（詳細編）＜電子マニュアル＞、Adobe Reader（Windows 版のみ）、QuickTime（Windows 版のみ）が収められています。
電子マニュアルは、Epson Link2 のインストール時に、同時にインストールされます。

電子マニュアルをご覧になるには、Adobe Reader が必要です。
パソコンに Adobe Reader がインストールされていない場合は、インストールしてください。

QuickTime は、動画をご覧になるために必要です。
QuickTime がインストールされていない場合は、インストールすることをお勧めします。

マニュアルは、すべて最新版（PDF 形式）を以下のホームページからダウンロードすることができます。
< http://www.epson.jp/guide/camera/ >

電子マニュアルの起動方法

● Windows の場合
デスクトップ上の［EPSON P-2500 操作ガイド（詳細編）］アイコンをダブルクリックします。
または、［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON］－［EPSON P-2500 操作ガイド（詳細編）］の順にクリックします。

● Macintosh の場合
デスクトップ上の［EPSON P-2500 操作ガイド（詳細編）］アイコンをダブルクリックします。

使用できるパソコン

Epson Link2 をご利用いただけるパソコンのシステム条件は、以下の通りです。

	Windows	Mac OS X
OS（オペレーティングシステム）	Windows Me / 2000 Professional / XP Home Edition / XP Professional	Mac OS X v10.2 以降
CPU	Pentium III 1GHz 以上で上記の OS が動作すること（推奨 CPU：Pentium 4、3.6GHz 以上）	PowerPC G4 以上（推奨 CPU：PowerPC G5 以上）
メモリ	256MB 以上（512MB 以上の搭載を推奨）	512MB 以上（1GB 以上の搭載を推奨）
必要 HDD 量	インストール時：100MB 以上の空き容量 動作時：1GB 以上の空き容量	インストール時：150MB 以上の空き容量 動作時：1GB 以上の空き容量
ディスプレイ	800 × 600 以上	800 × 600 以上
その他	USB port（type A connector） ※USB2.0 のサポートは、Windows XP Sp1 以降（純正品以外の USB2.0 のカード、ドライバは非サポート） CD-ROM ドライブ ※アプリケーションソフトインストール時に必要	USB port（type A connector ） ※USB2.0 のサポートは、Mac OS v10.2.7 以降 / MacOS X v10.2.7 以前の場合、USB1.1 対応（純正品以外の USB2.0 のカード、ドライバは非サポート） CD-ROM ドライブ ※アプリケーションソフトインストール時に必要

参考

Windows で USB 接続するためには、以下の条件のいずれかを満たしている必要があります。

- Windows Me / 2000 / XP のいずれかがプレインストール（購入時すでにインストール）されているパソコン
- Windows 98 SE がプレインストールされていて、Windows Me / 2000 / XP にアップグレードしたパソコン
- Windows Me / 2000 がプレインストールされていて、Windows XP にアップグレードしたパソコン
- 上記いずれかのパソコンで、USB に対応し、パソコンメーカーにより USB ポートの動作が保証されているパソコン

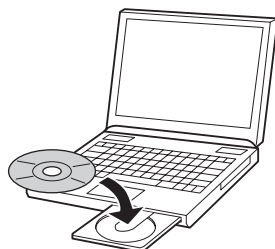
ソフトウェアのインストール方法

他のアプリケーションソフトを起動している場合は、終了してください。

!注意

- Windows 2000 にソフトウェアをインストールする場合は、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログオンする必要があります。
- Windows XP にインストールする場合は、「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーでログオンする必要があります。「制限」アカウントのユーザーではインストールできません。Windows XP をインストールしたときのユーザーは「コンピュータの管理者」アカウントになっています。
- Macintosh にソフトウェアをインストールする場合は、管理者権限のあるユーザーでログインしてください。

1 パソコンを起動して、ソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットします。

他のアプリケーションソフトを起動している場合は、終了してください。

Macintosh の場合は、デスクトップに表示される CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。

2 右の画面が表示されたら、[おすすめインストール]をクリックします。

右上の ⊗ をクリックすると、インストールを終了します。

［おすすめインストール］では、Epson Link2、QuickTime と電子マニュアルがインストールされます。

上記に加えて Adobe Reader をインストールする場合は、「カスタムインストール」をクリックします。

参考

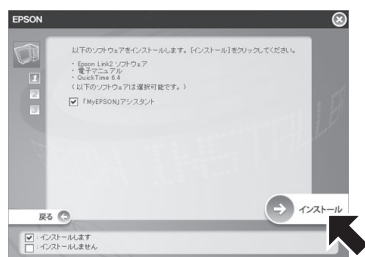
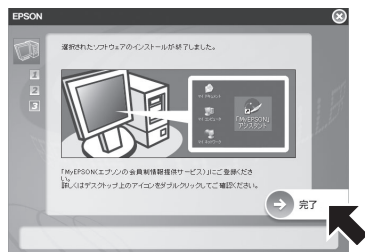
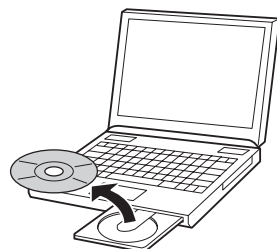
2 の画面が表示されないときは

- Windows XP の場合
  ［スタート］ー［マイコンピュータ］の順でクリックし、下記①･②の順で起動します。
- Windows Me / 2000 の場合
  デスクトップ上の［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、下記①・②の順で起動します。

①［マイコンピュータ］の中にある［CD-ROM］アイコンをダブルクリックして開き、
②［Setup］のアイコンをダブルクリックします。

3 右の画面が表示されたら、［インストール］をクリックします。

画面の指示に従ってインストールを進めてください。

※Macintosh の場合、QuickTime はインストールされません。

4 右の画面が表示されたら、［完了］をクリックします。

5 ソフトウェア CD-ROM を取り出します。

以上でインストールは終了です。

「MyEPSON」登録のお願い

お客様に製品をより快適にお使いいただくために、「MyEPSON」（☞ 本書 28 ページ）へのユーザー登録をお勧めします。（「MyEPSON」に登録済みのお客様は、本製品を追加登録してください。）
インストール終了後にデスクトップ上に作成されている「MyEPSON」のショートカットアイコンをダブルクリックすると、「MyEPSON」へ登録することができます。

「MyEPSON」
アシスタント

「MyEPSON」について

「MyEPSON」とは、エプソンの会員制情報提供サービスです。

「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設※してお役に立つ情報をどこよりも早く、また、さまざまなサービスを提供いたします。

※「MyEPSON」へのユーザー登録には、インターネット接続環境（プロバイダ契約が済んでおり、かつメールアドレスを保有）が必要となります。

例えば、ご登録いただいたお客様にはこのようなサービスを提供しています。

- ・お客様にピッタリのおすすめ最新情報のお届け
- ・ご愛用の製品をもっと活用していただくためのお手伝い
- ・お客様の「困った！」に安心 & 充実のサポートでお応え
- ・会員限定のお得なキャンペーンが盛りだくさん
- ・他にもいろいろ便利な情報が満載

すでに「MyEPSON」に登録されているお客様へ

「MyEPSON」登録がお済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いいたします。
追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。

「MyEPSON」への新規登録、「MyEPSON」への機種追加登録は、どちらも同梱の『ソフトウェア CD-ROM』から簡単にご登録いただけます。

ビューワをパソコンに接続する

付属の USB ケーブルを使い、本製品をパソコンに接続します。

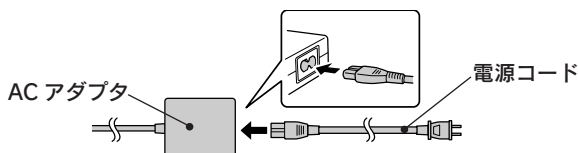
！注意

- 本製品をパソコンに接続するときは、必ず、本製品に AC アダプタを接続してください。不意のバッテリ切れ（電圧低下）などにより本製品のハードディスクが壊れる可能性があります。
- パソコンに接続するときは、あらかじめホーム画面を表示させておきます。（ホーム画面以外の画面で接続しても、パソコンには認識されません。）

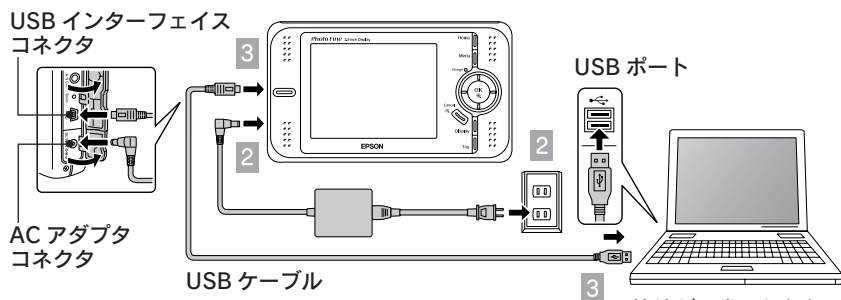
パソコンに接続する

本製品は以下のパソコンに接続することができます。
- Windows：Windows 2000 / Me / XP
- Macintosh：Mac OS X v10.2 以降

以下の手順で、パソコンに接続してください。

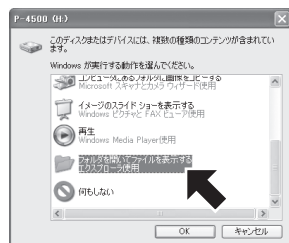
1 AC アダプタと電源コードを接続します。

2 AC アダプタのジャックを AC アダプタコネクタへ差し込みます。プラグをコンセントへ差し込みます。

3 USB ケーブルの小さいコネクタを、USB インターフェイスコネクタへ差し込みます。USB ケーブルの大きいコネクタを、パソコンの USB ポートへ差し込みます。

！注意

USB ケーブルのコネクタには、向きがあります。コネクタの向きをよく確認して、差し込んでください。

接続が正常に行われると、「パソコンに接続中です。」と表示されて、液晶モニタがオフになります。

参考

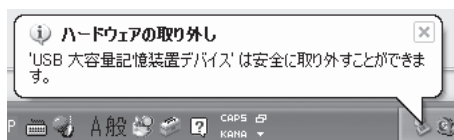
- パソコン接続中は、イルミネーションランプが青く点滅します。
- Windows XP の場合は、本製品を接続すると、Windows が実行する動作を選択する画面が表示されます。この場合は「フォルダを開いてファイルを表示する」を選ぶと、本製品内のデータが表示されます。

パソコンから取り外す

パソコンから本製品を取り外すときは、必ず以下の手順に従って取り外してください。

Windows の場合

1 パソコンの画面右下の「ハードウェアの安全な取り外し」をクリックします。

2 ポップアップメニューをクリックします。

3 右のメッセージが表示されたら、パソコン側のコネクタを取り外します。

4 本製品側のコネクタを取り外します。

Macintosh の場合

1 パソコンの画面に表示されている本製品を示すアイコンを「ゴミ箱」にドラッグ＆ドロップします。

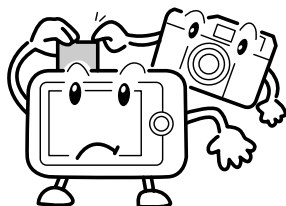
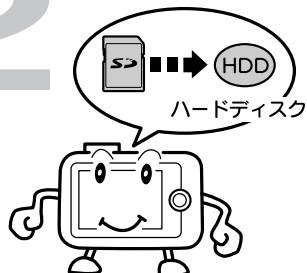
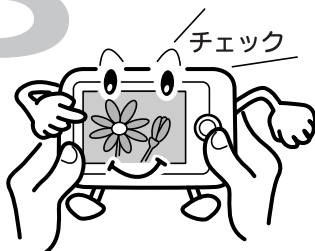
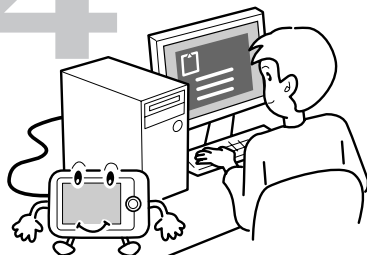
カードドライブがマウントされている場合は、そのアイコンも「ゴミ箱」へドラッグ＆ドロップします。

2 パソコン側のコネクタを取り外します。

3 本製品側のコネクタを取り外します。

フォトストレージとして使う

撮影した画像データを本製品に保存すれば、1 枚のメモリカードで思う存分撮影できます。ここでは、フォトストレージとして、画像データを一時的に本製品に保存し、そのデータをパソコンに保存するまでを、以下の手順で説明します。

1 デジタルカメラで撮影していっぱいになったメモリカードをビューワに挿入する

2 データをビューワにバックアップする

3 きちんとバックアップできているか再生して、確認する

4 （帰宅後などに）パソコンに接続して、ビューワ内のデータをパソコン保存する

ここでは、基本的な操作のみを説明しています。詳しくは、各タイトル横に ☞ で示されている電子マニュアルの各ページを参照してください。

使用できるメモリカード

本製品では以下のメモリカードを使用することができます。

● コンパクトフラッシュ (CF) カード（TYPE Ⅱ）

● マイクロドライブ

● SD メモリーカード 2GB まで使用可

● MMC（マルチメディアカード）1GB まで使用可

詳しくは、「本製品の仕様」（☞ 本書 65 ページ）を参照してください。

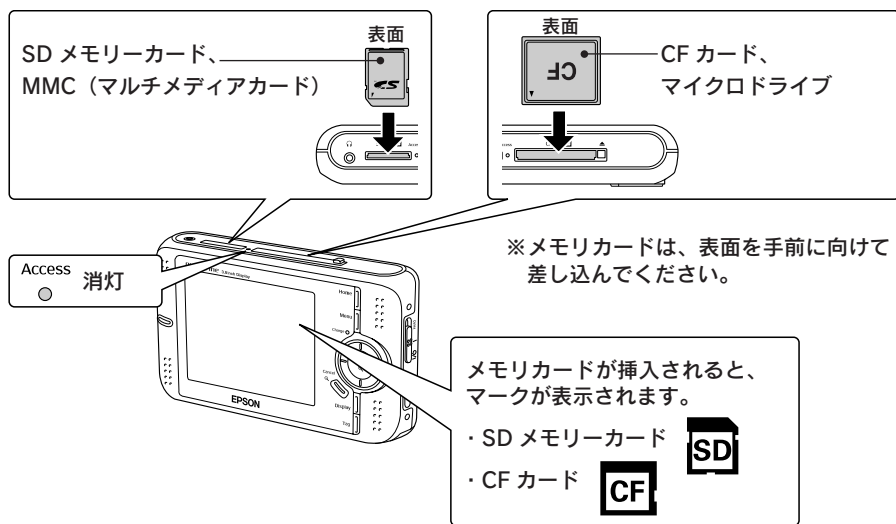
メモリカードのデータをバックアップする（☞ 電子 7 ページ）

メモリカードがいっぱいになったら、画像データをビューワに保存しましょう。
メモリカードからの画像データの取り込み方法は、
①メモリカード内のすべてのデータを取り込む「全バックアップ」と、
②必要なデータだけを選んで取り込む「部分バックアップ」
があります。ここでは、全バックアップの方法を説明します。
部分バックアップの方法については、「メモリカードのデータを取り込む」（☞ 電子 7 ページ）を参照してください。

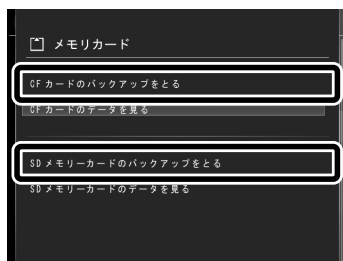
1 電源をオンにします。

ホーム画面が表示されます。

2 メモリカードを挿入します。

アクセスランプ（オレンジ）が点灯していないことを確認してから、メモリカードを挿入してください。

メモリカードを挿入すると、自動的に 3 の画面が表示されます。

3 「CF カードのバックアップをとる」または「SD メモリーカードのバックアップをとる」を選び、【OK】を押します。

現在進行中の動作を中断したいときは、
【Cancel】を押すと、1 つ前の画面に戻ります。

4 バックアップが始まります。

処理中画面が表示され、進行状況を確認できます。

参考

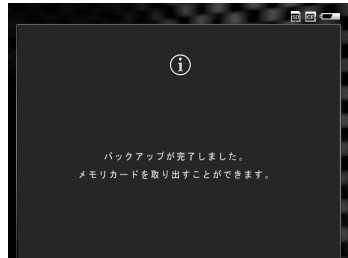
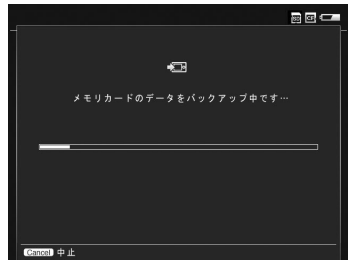
バックアップにかかる時間は、メモリカードの性能やデータの内容により異なります。目安として、1GB で 3 分～ 10 分です。ただし、それ以上かかる場合もあります。

!注意

アクセスランプが点灯している間は、メモリカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。

バックアップが完了すると、右の画面が表示され、バックアップしたデータの一覧画面に切り替わります。

!注意

AC アダプタを接続していない状態で大量のデータをバックアップすると、省電力機能が働き、画面が真っ暗になることがあります。【OK】または【Cancel】など、電源スイッチ以外のいずれかのボタンを押すと復帰します。
このとき、メモリカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。

5 画像を確認します。

バックアップするごとに、「バックアップ」フォルダに「日付＋連番」名でフォルダが作られます。取り込まれたデータは、そのフォルダの中に保存されます。

表示される以下のマークは、データの種類などを示しています。詳しくは、本書 39 ページをご覧ください。

- RAW RAW 画像データ
- 再生可能な動画データ
- 再生可能な音楽データ
- ? 非対応データ

画像の表示のしかたについては、「画像を表示する」（☞ 本書 38 ページ）で説明します。

使ってみましょう

メモリカードのデータをすべて削除する（☞ 電子 11、71 ページ）

続けて同じメモリカードで撮影する場合は、メモリカードのデータをすべて削除します。お使いのデジタルカメラでも削除やフォーマットができますが、ここでは、ビューワでメモリカードのデータを削除する方法を説明します。

1 【Home】を押し、ホーム画面を表示します。

参考

どの画面が表示されていても、【Home】を押すとホーム画面に戻ることができます。

2 「メモリカード 　」を選び、【OK】を押します。

メモリカード操作画面が表示されます。

3 「CF カードのデータを見る」または「SD メモリーカードのデータを見る」選び、【OK】を押します。

メモリカードデーター覧が表示されます。

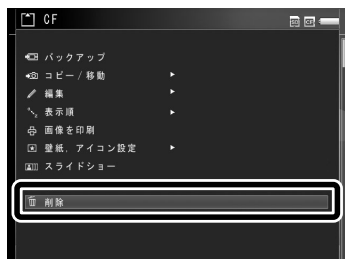
4 【Menu】を押します。

ポップアップメニューが表示されます。

参考

- 【Menu】を押すと、その場面で可能な操作のポップアップメニューが表示されます。
- ▶のついているメニューは、【→】または【OK】を押すとサブメニューが表示されます。

5 「削除」を選び、【OK】を押します。

データ選択画面が表示されます。

6 【Menu】を押します。

右の画面で削除したいデータやフォルダを選べますが、全データを削除する場合はポップアップメニューを使うと便利です。

ここではデータを選択せずに、そのまま【Menu】を押してください。

7 ポップアップメニューが表示されます。

すべて選択

フォルダ内のすべてのデータを選択して、目的の動作を実行します。

すべて解除

現在の選択を取り消して、データ選択画面に戻ります。

決定して次へ

現在の選択を決定して、目的の動作を実行します。

8 「すべて選択」を選び、【OK】を押します。

データ選択画面のすべてのデータが選択された状態（チェックマークが付いている状態）になります。

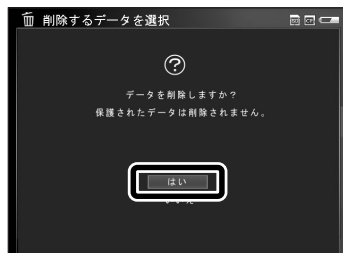
すべての選択を取り消したいときは

【Menu】を押してポップアップメニューを表示し、「すべて解除」を選びます。何も選択されていない状態（チェックマークが付いているデータがない状態）に戻ります。

9 【Display】を押します。

削除確認画面が表示されます。

10 「はい」を選び、【OK】を押します。

削除を中止する場合は、【Cancel】を押すか、「いいえ」を選んで【OK】を押します。

11 処理中画面が表示されます。

削除を中止する場合は、【Cancel】を押し、確認画面で「はい」を選びます。
ただし、【Cancel】を押すまでに削除されたデータは元に戻せません。

以上でデータの削除は完了です。

保護されたデータは削除できません。

12 メモリカードを取り出します。

アクセスランプ（オレンジ）が点灯していないことを確認してから、メモリカードを取り出してください。

■ SD メモリーカードスロットの場合

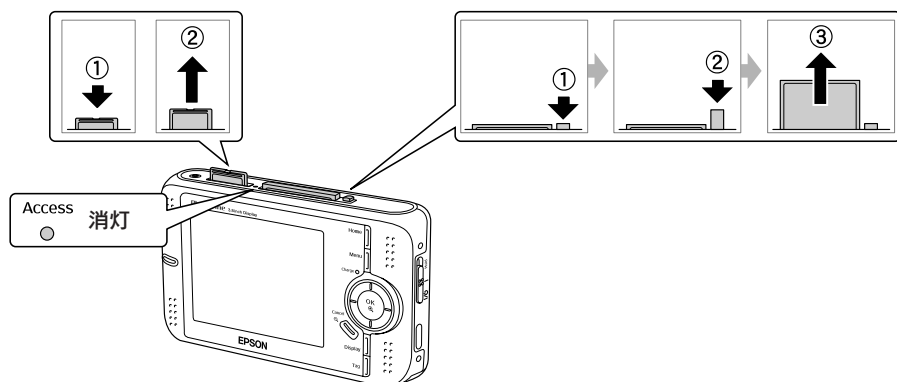
①カードを押す→カードが出てきます

②カードを引き抜く

■ CF カードスロットの場合

①ボタンを押す→ボタンが出てきます

②もう一度ボタンを押す→カードが出てきます

③カードを引き抜く

パソコンにデータをバックアップする （電子 18 ページ）

ビューワに保存したデータは、こまめにパソコンへバックアップしてください。
本製品に付属のソフトウェア Epson Link2 を使うと､バックアップと､バックアップ済みデータの削除が簡単にできます。

参考

ハードディスクは、ぶつけたり落としたりといった過度の衝撃に弱い性質を持っています。不意の故障に備えて、本製品内のデータは、こまめにパソコンへバックアップしてください。

■簡単バックアップ

Epson Link2 の「簡単バックアップ」機能を使ってバックアップする方法を説明します。
ビューワの「バックアップデータ」フォルダにあるデータのうち、まだバックアップされていないデータを、Epson Link2 が自動的に識別します。そのデータをフォルダ単位でパソコンへ取り込みます。
さらに､バックアップ後にビューワからデータを削除するか確認し､必要に応じて削除します。
なお、Epson Link2 の詳しい使い方については、ソフトウェアのオンラインヘルプを参照してください。

1 【Home】を押し、ホーム画面を表示します。

別の画面を表示してパソコン接続すると、認識されません。

2 ビューワをパソコンに接続します。

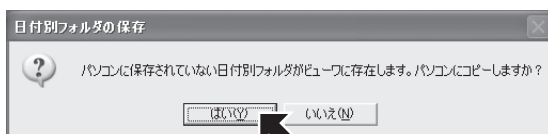
「パソコンに接続する」（☞ 本書 29 ページ）の手順で、パソコンに接続します。
バッテリ切れによる電圧低下は、ハードディスクの破損を引き起こす原因となりますので、必ず AC アダプタを接続してください。

3 パソコンで Epson Link2 を起動します。

4 「簡単バックアップ開始確認」メッセージが表示されます。

「バックアップデータ」フォルダにバックアップされていないデータがない場合は、メッセージは表示されません。

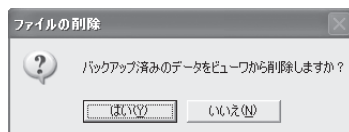
5 ［はい］をクリックします。

バックアップを開始し、転送の進行状況を示す画面が表示されます。

バックアップを中止する場合は、［いいえ］をクリックします。

バックアップが完了すると、「バックアップ済みデータの削除確認」メッセージが表示されます。

6 削除する場合は［はい］を、しない場合は［いいえ］をクリックします。

以上で簡単バックアップは終了です。

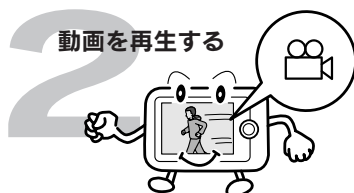
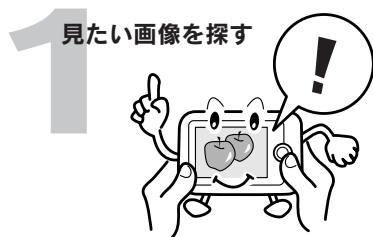
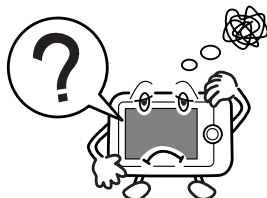
!注意

パソコンから本製品を取り外すときは、必ず「パソコンから取り外す」（☞ 本書 30 ページ）の手順に従って取り外してください。

参考

- バックアップデータは「Epson Link2 Backup」フォルダに保存されます。このフォルダは、Epson Link2 のインストール時に「マイドキュメント」フォルダ内に作られます。Epson Link2 の「設定」画面で、デスクトップや任意のフォルダ内に移動することもできます。
- 購入時は、「バックアップデータ」フォルダにバックアップされていないデータがあると、
  ①「簡単バックアップ開始確認」メッセージを表示する
  ② バックアップ後は、「バックアップ済みデータの削除確認」メッセージを表示する
  設定になっています。この設定は変更できます。詳しくは Epson Link2 のオンラインヘルプを参照してください。
- Epson Link2 を使用しないでバックアップを行ったときなど、バックアップの履歴が残らないことがあります。この場合は、バックアップ済みのデータでも未バックアップデータと認識され、コピーされることがあります。

使ってみましょう

フォトビューワとして使う

本製品に取り込んだ画像データを、液晶モニタで見てみましょう。ここでは、画像データを表示／再生する方法を説明します。

■画像が、表示／再生できない……
本製品で扱えるデータか確認してください。

ここでは、基本的な操作のみを説明しています。詳しくは、各タイトルの横に ☞ で示されている電子マニュアルの各ページを参照してください。

参考

表示／再生できるデータの詳細については、「表示／再生できるデータ」（☞ 本書 61 ページ）を参照してください。

画像を表示する（☞ 電子 23 ページ）

バックアップした画像データは、「バックアップデータ 」フォルダに保存されています。

1 ホーム画面で「バックアップデータ 」を選び、【OK】を押します。

フォルダ一覧が表示されます。

参考

ホーム画面の各アイコンについては、「画像を表示する」（☞ 電子 23 ページ）を参照してください。

2 表示したい画像が保存されているフォルダを選び、【OK】を押します。

データ一覧が表示されます。

選択されているフォルダは、青い枠で囲まれています。

フォルダ名
バックアップの日付＋連番

フォルダ一覧画面

参考

- フォルダのアイコンは変更することができます。（☞ 電子 85 ページ「フォルダのアイコンや壁紙を設定する」）

3 表示したい画像を選び、【OK】を押します。

データはファイルの日付順に表示されます。
【↑↓←→】を長押しすると、高速スクロールで選択することができます。

画像情報をアイコンでお知らせします。

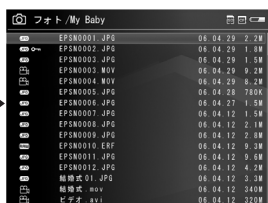
タイトル：現在表示しているフォルダの階層／フォルダ名

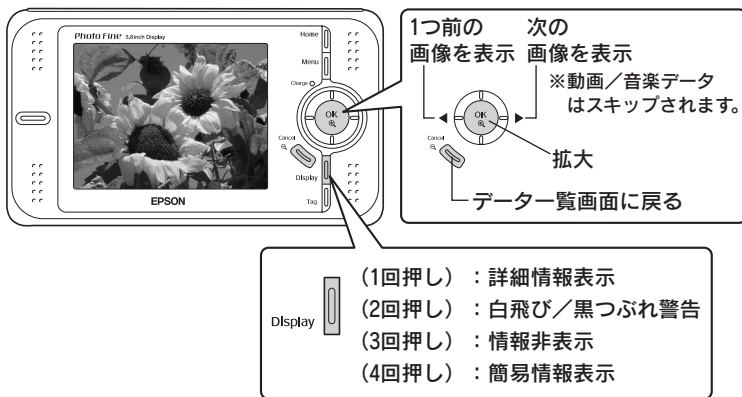
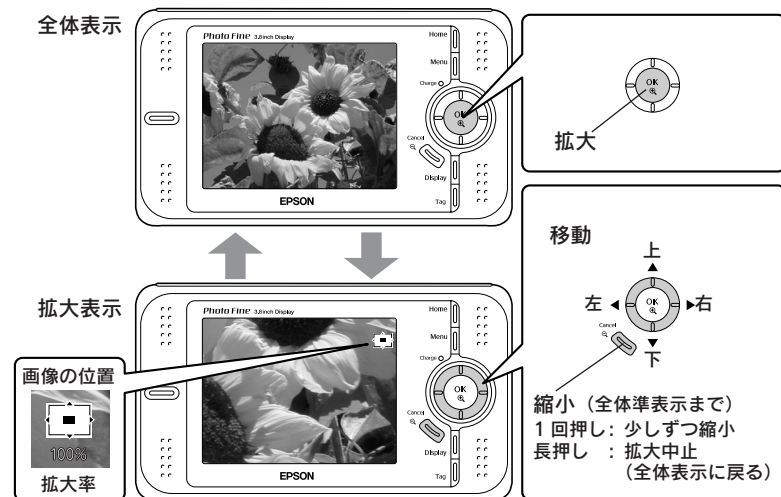
データ一覧画面

- JPG　JPEG 画像データ（リスト表示のみ表示）
- RAW　RAW 画像データ
- 動画データ
- NEW　未再生の動画
- PAUSE　再生途中で停止した動画
- VOD　著作権保護のかかった DivX ファイル（DivX VOD ファイル）
- ♫　音楽データ
- ？　非対応データ

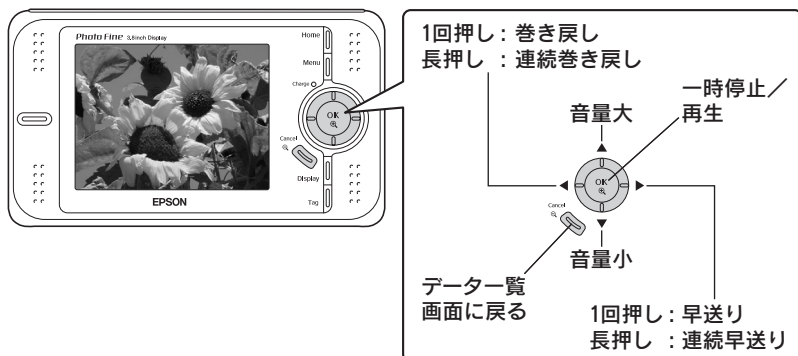
- 非対応データフォルダ
- ＊＊＊＊　プライベートフォルダ（☞ 電子 66 ページ「フォルダにプライベート機能を設定する」）
- パソコンにコピー済みのデータ（バックアップデーター覧画面のみ表示）
- タグ（付箋）（☞ 電子 79 ページ「アルバムを作成する」）
- スクリーンセーバーに指定されているデータ（☞ 電子 86 ページ「スクリーンセーバーの画像を設定する」）
- 保護の設定がされているデータ（☞ 電子 63 ページ「データを保護する」）
- ★　ショートカットに登録されているデータ（☞ 電子 26 ページ「ショートカットを登録する」）

参考

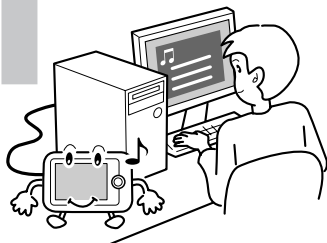
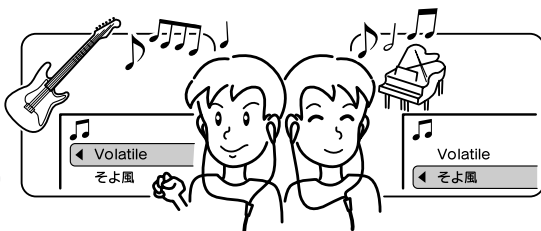
- 【Display】を押すと、データ一覧画面の表示のしかたを選べます。（☞ 電子 24 ページ「データ一覧画面について」）

4-① 3 で静止画を選んだ場合は、画像が表示されます。

画像表示中にできるボタン操作は、以下の通りです。

- 静止画像の表示中に【OK】を押すと、画像を拡大して表示することができます。詳しくは、「画像を拡大する」（☞ 電子 27 ページ）を参照してください。

- 画像が拡大表示されているときに【OK】を長押しすると、連続拡大します。（最大 400% まで）
- 全体表示中に【OK】を長押しすると、拡大位置指定枠が表示されます。（画像サイズが 640 × 480 ピクセルよりも大きい静止画のみ。）
- 画像を回転させたり、スライドショーで表示することもできます。その他の表示のしかたについては、電子マニュアルを参照してください。

4-② 3 で動画を選んだ場合は、再生が始まります。

動画再生中にできるボタン操作は、以下の通りです。

使ってみましょう

ポータブル音楽プレーヤーとして使う

パソコンから、「MP3」、「AAC (MPEG4)」または「WMA」形式の音楽データを取り込んで再生できます。ここでは、音楽データの取り込み方や再生のしかたについて説明します。

ここでは、基本的な操作のみを説明しています。詳しくは、各タイトル横に ☞ で示されている電子マニュアルの各ページを参照してください。

音楽データを取り込む（☞ 電子 13 ページ）

パソコンに接続して、Epson Link2 を使って音楽データをパソコンからビューワに転送します。なお、Epson Link2 の詳しい使い方については、ソフトウェアのオンラインヘルプを参照してください。

参考

- 再生できる音楽データの詳細については、「再生できる音楽データ」（☞ 本書 64 ページ）を参照してください。
- メモリカードから音楽データを取り込んでも、ビューワの「ミュージック」フォルダにはコピー／移動できません。
  音楽データをビューワに取り込むときは、必ず Epson Link2 を使用してください。
- 万一に備え、パソコンからビューワにデータをコピーするときは、パソコン側にもデータを残しておいてください。

1 【Home】を押し、ホーム画面を表示します。

別の画面を表示してパソコン接続すると、認識されません。

2 ビューワをパソコンに接続します。

「パソコンに接続する」（☞ 本書 29 ページ）の手順で、パソコンに接続します。
バッテリ切れによる電圧低下は、ハードディスクの破損を引き起こす原因となりますので、必ず AC アダプタを接続してください。

3 パソコンで Epson Link2 を起動します。

※本製品が対応している音楽ファイルは、拡張子が m4a と mp3 のファイルです。なお Windows の場合、WMA と WAV は、転送時に Epson Link2 で形式を変換できます。

※CD などの音楽を取り込みたい場合は、市販のソフトウェアなどを使用してデータ形式を変換し、パソコンに保存しておいてください。

4 をクリックします。

［ミュージック］画面が表示されます。

5 ビューワに転送したい音楽ファイル（フォルダ）を選びます。

上エリアのフォルダ一覧から、目的のフォルダや音楽データを探し、選びます。

6 をクリックして、転送します。

上エリアのデータが下エリア（ビューワ）にコピーされます。
データが転送されると、下エリアの［アーティスト］、［アルバム］、［タイトル］、［再生時間］に各種情報が表示されます。

※ビューワに登録できる曲数は、合計 10,000 曲までです。

7 Epson Link2 を終了します。

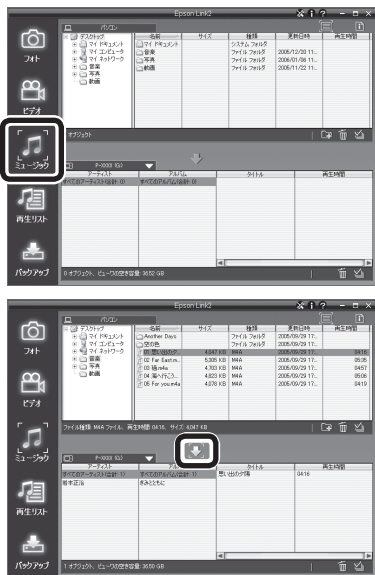
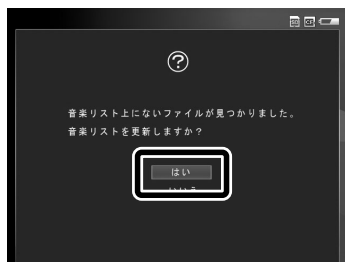
8 ビューワをパソコンから取り外します。

ビューワの音楽リストを更新する／しないを確認するメッセージが表示されます。

！注意

パソコンから本製品を取り外すときは、必ず「パソコンから取り外す」（☞ 本書 30 ページ）の手順に従って取り外してください。

9 「はい」を選び、【OK】を押します。

音楽リストが更新されます。
「ミュージック」画面でも、音楽リストを更新できます。
（☞ 本書 44 ページ「音楽を聴く」）

音楽を聞く（☞ 電子 45 ページ）

「ミュージック」に保存されている音楽データは、アーティスト、アルバム、ジャンル、再生リスト別に音楽データを探すことができます。

1 ホーム画面で「ミュージック ♫ 」を選び、【OK】を押します。

※音楽データをビューワに取り込み後に音楽リストの自動更新を行わなかった場合は、ビューワの音楽リストを更新する／しないを確認するメッセージが表示されます。必要に応じて更新してください。

2 どの項目から曲を探すか、選びます。

項目を選ぶごとに、画面右側にその項目の一覧が表示されます。

アーティスト

アーティスト名から曲を探すときに選びます。「アーティスト」→「アルバム」→「曲」の順で選んでいきます。

アルバム

アルバム名から曲を探すときに選びます。「アルバム」→「曲」の順で選んでいきます。

ジャンル

ジャンル一覧が表示されます。ジャンルから曲を探すときに選びます。「ジャンル」→「アーティスト」→「アルバム」→「曲」の順で選んでいきます。

全曲

曲名から曲を探すときに選びます。曲名順に表示された全曲一覧から選びます。

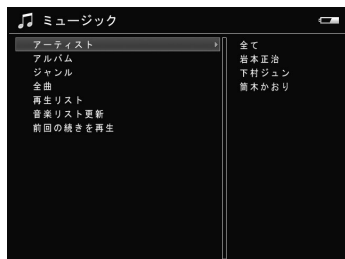
再生リスト

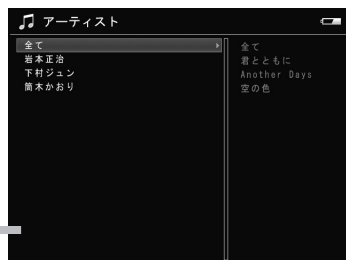
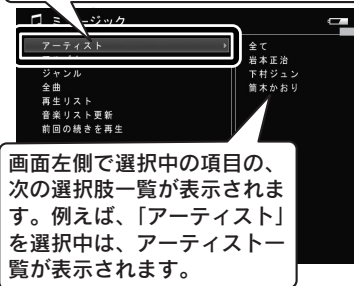
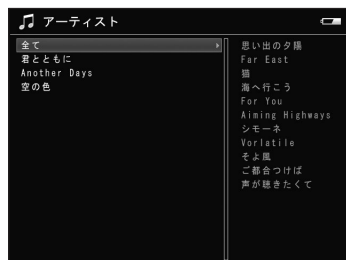
再生リストに登録した曲を再生するときに選びます。登録されていない場合は、選択肢は表示されません。
（☞ 電子 52 ページ「再生リストを作成する」）

音楽リスト更新

新しく音楽データを取り込んだときに選びます。「ミュージック」データベースが更新されます。

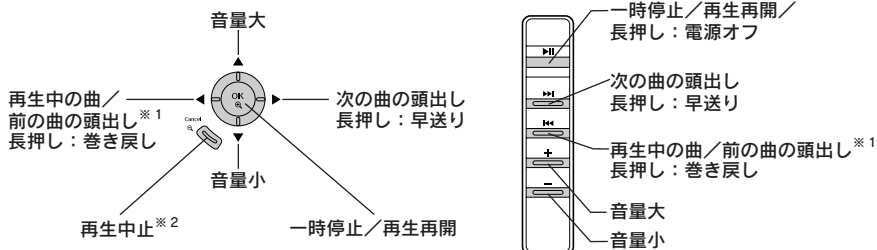
前回の続きを再生

前回最後に再生した曲を、最初から再生します。

音楽データをビューワに取り込み後に音楽リストの自動更新を行わなかった場合は、この画面で「音楽リスト更新」を選び【OK】を押して、音楽リストを更新してください。

3 聞きたい曲やアルバムなどを選びます。

「全て」を選ぶと、選択肢をすべて選んで（選択をしないで）次の選択に進みます。

例えば、アーティストを選択する画面で「全て」を選択すると、アルバムを選択する画面に移動します。

4 【OK】を押します。再生が始まります。

アーティストやアルバムなど、カテゴリを選んで【OK】を押すと、そのカテゴリに含まれるすべての曲が再生されます。

曲の再生中にできるボタン操作は、以下の通りです。

※ 1: 頭出しは、再生中の曲の再生時間が頭から 1 秒以内の場合は前の曲の頭出し、1 秒以上の場合は再生中の曲の頭出しとなります。
※ 2:「ミュージック」の曲を再生していた場合は、曲を再生したまま【OK】を押す前の画面に戻り、曲を選び直すことができます。もう一度押すと、再生を中止します。
「フォト」または「ビデオ」の曲を再生していた場合は、再生を中止します。

「ミュージック ♫ 」でできること

音楽を聞くだけでなく、本製品の音楽機能でいろいろなことができます。

ビューワに再生順を任せて聞く （☞ 電子 51 ページ「再生モードを設定する」）

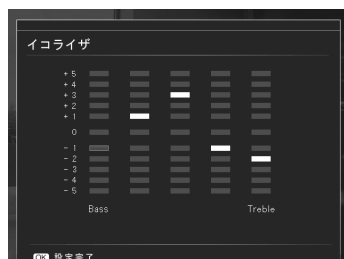
再生モードは、リピート設定と再生順設定が用意されています。
例えば、シャッフルは、ビューワが曲順を決めて再生します。いつものアルバムを、また違った感覚で楽しめます。

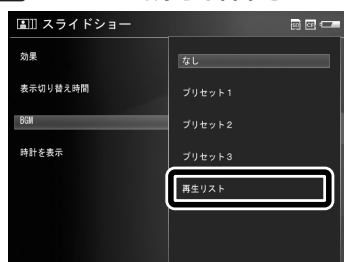
- リピートなし：　選択したカテゴリの曲をすべて再生して終了します。
- 1 曲リピート：　選択した曲を繰り返し再生します。
- 全曲リピート：　再生順設定（シャッフル、通常再生）の曲順で、選択したカテゴリの曲をすべて繰り返し再生します。
- シャッフル：　曲順をシャッフルして再生します。
- 通常再生：　トラック順（画面に表示されている順）に再生します。

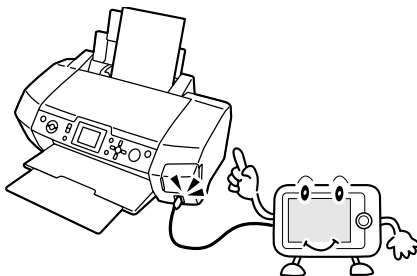
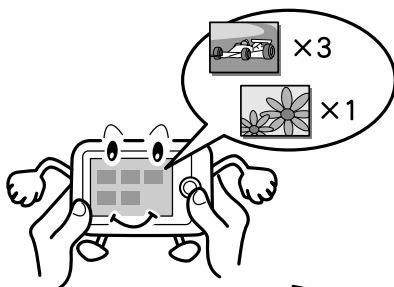
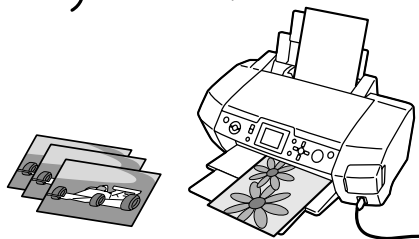
好きな曲を好きな順で聞く （☞ 電子 52 ページ「再生リストを作成する」）

取り込んだ音楽データから、好きな曲をピックアップして、オリジナルの再生リストを作成できます。また、このリストは、後から編集することもできます。

サウンドを調整して聞く （☞ 電子 61 ページ「サウンドを調整する」）

イコライザ機能で、音質を調整できます。プリセットイコライザを使うと、各ジャンルに適した音調整が簡単にできます。ユーザー設定も可能です。

スライドショーを見ながら聞く （☞ 電子 36 ページ「好きな音楽を BGM にしてスライドショーを楽しむ」）

好きな曲を集めた再生リストを BGM に、スライドショーを再生できます。音楽再生ができる、フォトビューワならではの機能です。

静止画／動画をプリンタで印刷する

撮影した画像を印刷してみましょう。本製品は、パソコンを使わず直接プリンタに接続し、画像を印刷できます。

ここでは、基本的な操作のみを説明しています。詳しくは、各タイトル横に ☞ で示されている電子マニュアルの各ページを参照してください。

使用できるプリンタ

本製品はエプソン製の USB DIRECT-PRINT 対応プリンタと接続することで、ダイレクトプリントができます。プリンタの機種は次の通りです。（2006 年 6 月現在）
最新の対応プリンタは、エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）でご確認ください。

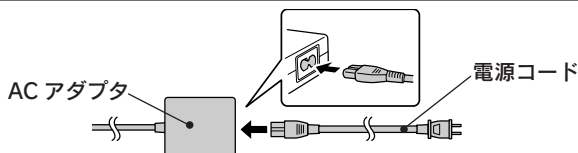
- PM-A700
- PM-A750
- PM-A820
- PM-A850
- PM-A870
- PM-A890
- PM-A900
- PM-A920
- PM-A950
- PM-A970
- PM-D600
- PM-D750
- PM-D770
- PM-D800
- PM-D870
- PX-D1000
- PM-G850
- PM-G4500
- PM-T990
- PX-A650
- PX-A720
- E-100
- E-150
- E-200
- E-300
- E-500
- E-700

プリンタに接続する（☞ 電子 90 ページ）

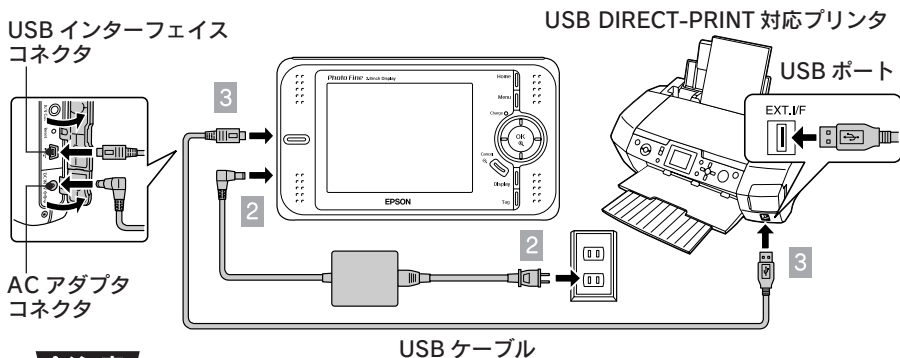
プリンタと接続して印刷の準備をします。本製品とプリンタは以下の手順で接続します。

!注意

本製品をプリンタに接続するときは、必ず、本製品に AC アダプタを接続してください。

1 AC アダプタと電源コードを接続します。

2 AC アダプタのジャックを AC アダプタコネクタへ差し込みます。プラグをコンセントへ差し込みます。

3 USB ケーブルの小さいコネクタを、USB インターフェイスコネクタへ差し込みます。USB ケーブルの大きいコネクタを、プリンタの USB ポートへ差し込みます。

!注意

USB ケーブルのコネクタには、向きがあります。コネクタの向きをよく確認して、差し込んでください。

参考

- プリンタ側の接続方法については、プリンタの取扱説明書を参照してください。
- ダイレクトプリントの設定・印刷中は、省電力機能による電源オフにはなりません。

プリンタから取り外すときは

本製品の液晶モニタで印刷が終了していることを確認してから、USB ケーブルのコネクタを抜いてください。（本製品とプリンタは、どちらも電源オンのまま取り外し可能です。）

静止画を印刷する（☞ 電子 92 ページ）

プリンタに接続したら、以下の手順で静止画を印刷します。どの静止画を何枚印刷するか、静止画ごとに指定して印刷することができます。

1 全体表示画面またはデータ一覧画面で静止画を選び、【Menu】を押します。

ポップアップメニューが表示されます。

2 「画像を印刷」を選び、【OK】を押します。

データ選択画面が表示されます。

3 各静止画の印刷枚数を指定します。

全体表示画面の場合

①【← →】で、印刷する静止画を選びます。
②【↑ ↓】で、印刷枚数を指定します。
③①と②を繰り返して、どの画像を何枚印刷するか、指定します。
④指定し終わったら、【OK】を押します。
印刷設定画面が表示されます。

全面表示画面での枚数指定

データ一覧画面の場合

①【↑ ↓← →】で、印刷する静止画を選び、【OK】を押します。
②枚数指定【↑ ↓】で、印刷枚数を指定します。
③【OK】または【← →】を押します。

- 【OK】を押すと、次の静止画も【↑ ↓ ← →】で選べます。【OK】を押してから【↑ ↓】で印刷枚数を指定します。
- 【← →】を押すと、次の静止画の選択は【← →】のみの操作になりますが、そのまま【↑ ↓】で印刷枚数を指定できます。

④①～③を繰り返して、どの静止画を何枚印刷するか、指定します。
⑤指定し終わったら、【Display】を押します。
印刷設定画面が表示されます。

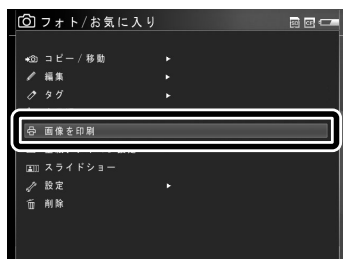
データ一覧画面での枚数指定

6 印刷設定を指定します。

印刷設定の詳細については、「印刷設定を変更する」（☞ 電子 96 ページ）を参照してください。

7 【OK】を押して、印刷を開始します。

印刷中画面が表示されます。

印刷が正常に終了すると、1 の画面に戻ります。

動画を印刷する（ 電子 94 ページ）

動画のコマを自動的に切り出し、その中から連続する 12 コマを選び、印刷できます。

1 印刷したい動画のシーンを表示します。

①印刷したい動画を選び【OK】を押し、動画を再生します。
②必要に応じて早送り／巻き戻しをして印刷したいシーンを表示します。
厳密にシーンを選びたいときは、【OK】を押して一時停止してから【←→】でコマ送りをすると、希望のシーンを表示できます。

2 【Menu】を押します。

ポップアップメニューが表示されます。

3 「動画を印刷」を選び【→】または【OK】を押し、切り出し間隔を選びます。

フレームの間隔：大	広い間隔で切り出します。
フレームの間隔：中	大と小の中間の間隔で切り出します。
フレームの間隔：小	狭い間隔で切り出します。

切り出し中画面が表示された後、切り出されたコマが表示されます。

4 印刷するコマを選びます。

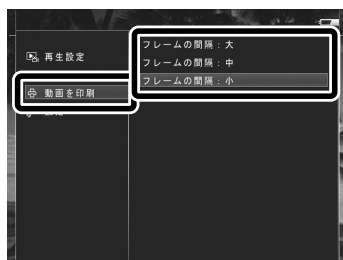
①【← →】でコマを前後に移動できます。印刷する 12 コマを表示します。
②コマが決まったら、【OK】を押します。

切り出しをやり直したい場合は、【Cancel】を押します。1 の画面に戻ります。

5 印刷設定を指定します。

印刷設定の詳細については、「印刷設定を変更する」（ 電子 96 ページ）を参照してください。

6 【OK】を押して、印刷を開始します。

印刷中画面が表示されます。
印刷が正常に終了すると、1 の画面に戻ります。

参考

データ一覧画面で動画を選び 2 から操作しても、動画の印刷ができます。この場合、切り出されるコマは動画の最初の画像からになります。

印刷を中止するときは

途中で印刷を中止したいときは【Cancel】を押し、画面に従って操作します。（印刷を中止しても、すでにプリンタに送信された画像データは印刷されます。）

テレビに接続して見る

本製品をテレビやプロジェクターなどビデオ入力機能のある映像機器と接続すると、液晶モニタで見るときと同様に、画像やスライドショーを接続した映像機器で見ることができます。

テレビを接続する （☞ 電子 87 ページ）

参考

ビデオデッキに接続する場合も、同様に「入力端子」に接続します。

TV

入力 映像 音声 左 右

入力端子

1 テレビに接続する

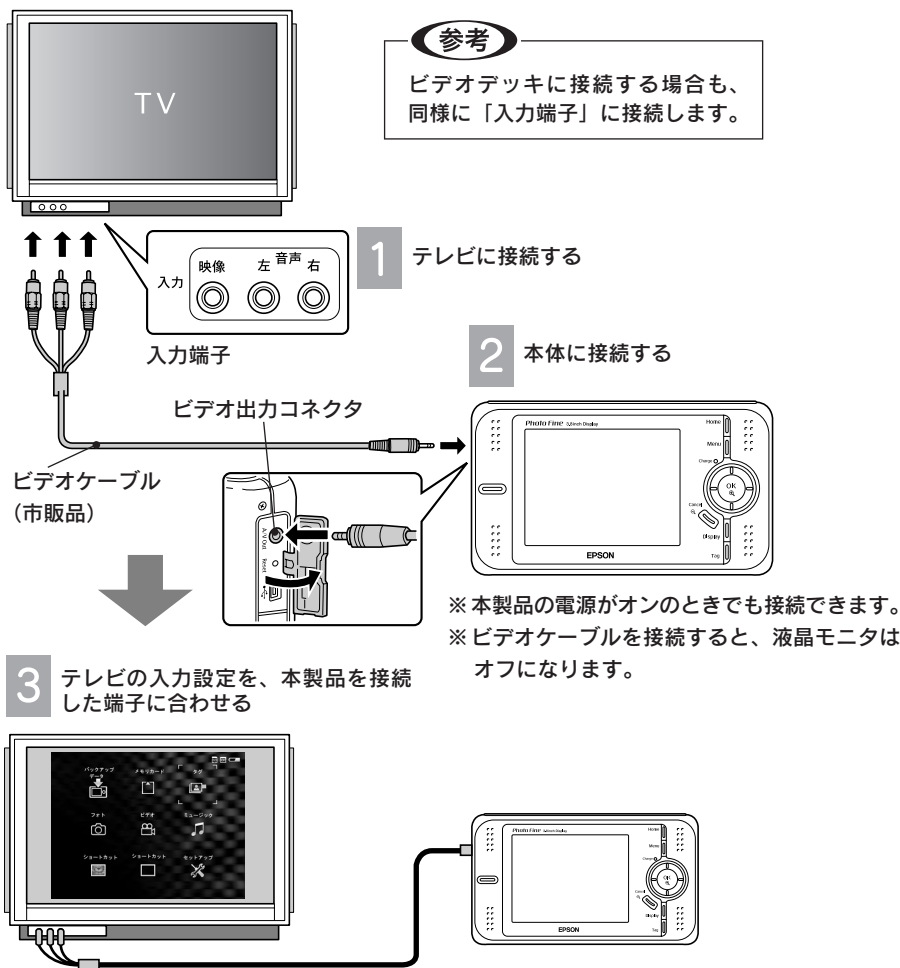
2 本体に接続する

ビデオ出力コネクタ

ビデオケーブル（市販品）

※ 本製品の電源がオンのときでも接続できます。

※ ビデオケーブルを接続すると、液晶モニタはオフになります。

3 テレビの入力設定を、本製品を接続した端子に合わせせる

使用後は、本製品とテレビからビデオケーブルを抜きます。

！注意

テレビやビデオデッキと接続するとき以外は、本製品からビデオケーブルを取り外してお使いください。

こんなメッセージが表示されたときは

液晶モニタにメッセージが表示されたときは、メッセージに応じて次のように対処してください。

こんなメッセージが表示されたときは	こうしてください
HDD にアクセスできません。HDD に問題があるか、FAT32 以外でフォーマットされている可能性があります。	ハードディスクが NTFS でフォーマットされた可能性があります。NTFS でフォーマットされたハードディスクは、お客様ご自身で復旧することはできません。エプソン修理センターまで修理をご依頼ください。（この場合の修理は、保証期間内であっても有償となります。） なお修理の際、本製品に保存されていたデータはすべて消去されます。パソコンからはビューワ内のデータが見えますので、修理に出す前に必要なデータをパソコンにバックアップしておくことをお勧めします。（☞ 電子 18 ページ「パソコンにビューワのデータをバックアップする」）
ファイルへのアクセスエラーが発生しました。	パソコンに接続して、そのファイルがパソコン上で正しく認識されるか／開けるかを確認してください。もしパソコン上でも正しく認識されない／開けない場合は、そのファイルが壊れていることが考えられます。
	何らかの原因により、本体が高温になった可能性があります。本体の温度が下がるまでお待ちください。AC アダプタを使用している場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。しばらく待っても本体の温度が下がらないときは、バッテリを取り外し、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでご連絡ください。（バッテリが高温になっている場合がありますので、注意して取り外してください。）
	バッテリが消耗しています。AC アダプタを接続してお使いになるか、バッテリを充電してください。
Press Reset	何らかの原因により本製品が不安定な状態になっています。 本製品をリセットしてください。（☞ 本書 58 ページ「リセットのしかた」）

こんなときは

故障かな？と思ったら

本製品の操作などに問題があるときは、液晶モニタにメッセージが表示されます。このときは、液晶モニタのメッセージに従ってください（☞ 本書 52 ページ「こんなメッセージが表示されたときは」）。
メッセージが表示されず、「故障かな？」と思ったときは、修理を依頼される前に下記の項目をチェックしてください。対処に従っても問題が解決しないときは、故障している可能性がありますので、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでご連絡ください。（☞ 本書巻末）

ACアダプタには、高電圧の回路があります。分解はしないでください。感電のおそれがあります。

!注意

- 本製品には、お客様自身で修理・交換できる部品はありません。故障のときや調整が必要なときは、お買い求めの販売店、またはエプソン修理センター（☞ 本書巻末）にお問い合わせください。
- 次 のような場合は故障と考えられますので、すぐ AC アダプタとバッテリを抜いて使用を中断し、お買い求めの販売店、またはエプソン修理センター（☞ 本書巻末）にご連絡ください。
  - 本体、バッテリが極端に発熱する（非常に温度が高い）
  - 変な臭いや、嫌な音がする、煙が出る

こんなときは		ここをチェック	こうしてください
電源	しばらくすると電源がオフになる	省電力機能が働いていませんか。	再度、電源をオンにしてください。電源がオフになるまでの時間が短いときは、自動電源オフまでの時間を長めに設定してください。（☞ 電子 103 ページ「省電力」）
		本製品が高温になっていませんか。	長時間スライドショーを行ったときなど、本製品が高温になると自動的に電源がオフになることがあります。このときは本製品の温度が下がるまでお待ちください。

こんなときは		ここをチェック	こうしてください
電源	しばらくすると電源がオフになる	バッテリ残量が少なくなっていませんか。	バッテリがなくなると、画面が消えたり、電源がオフになることがあります。バッテリを充電してください。または AC アダプタを接続して使用してください。が表示されたときは、バッテリを充電してください。バッテリの寿命により、充電しても使用時間が短くなることがあります。その場合は、新しいバッテリをお買い求めください。（電子 110 ページ「バッテリを交換する」）
	電源がオンにならない	－	電源をオンにしてもイルミネーションランプ（ブルー）が点灯しない場合は、バッテリ残量が少なくなっています。AC アダプタを接続してお使いになるか、バッテリを充電してください。
		バッテリは正しくセットしていますか。	バッテリの向きを確認し、正しくセットしてください。（本書 18 ページ「バッテリをセットする」）
	電源がオフにならない	アクセスランプ（オレンジ）が点滅していませんか。	アクセスランプ（オレンジ）が点滅しているときは、本製品が動作中です。しばらくお待ちください。
		操作を受け付けない状態ですか。	何らかの原因により、本製品が不安定な状態になりました。リセットしてください。（本書 58 ページ「リセットのしかた」）
	充電できない（充電ランプが点灯しない）	バッテリの端子が汚れていませんか。	乾いた柔らかい布で端子部の汚れを拭いてください。
		AC アダプタを接続した後にバッテリをセットしませんでしたか。	AC アダプタをいったん取り外し、再度接続してください。
	いつまで経っても充電が完了しない（充電ランプが消灯しない）	暑すぎたり、寒すぎたりしていませんか。	充電可能な温度範囲を超えているときは充電できません。このときは充電可能な温度になってから充電してください。（本書 7 ページ「バッテリの取り扱いについて」）
		電源をオンにしたまま充電すると、時間がかかります（最大 30 時間程度）。	急いで充電する場合は、電源をオフにして充電してください。
液晶モニタ	画面が暗い	省電力機能が働いていませんか。	いずれかのボタンを押してください。省電力機能が解除されます。

こんなときは		ここをチェック	こうしてください
液晶モニタ	画面が白い	「画面の明るさ」で明るく設定されていませんか。	「画面の明るさ」で明るさを調節してください。（☞ 電子 100 ページ「画面の明るさ」）
	画面が表示されない	テレビやビデオに接続していませんか。	テレビやビデオに接続しているときは、液晶モニタは表示されません。
		ビデオケーブルが接続されていませんか。	ビデオケーブルが接続されているときは、液晶モニタは表示されません。
メモリカード	メモリカードを認識しない	メモリカードは奥まで挿入されていますか。	メモリカードの向きを確認し、奥まできちんと押し込んでください。
		–	メモリカードをセットしたときに、アクセスランプ（オレンジ）が点滅しない場合は、メモリカードが正しく挿入されているか確認してください。正しく挿入されていてもメモリカードを認識しないときは、メモリカードが他の機器で使用できるか確認してください。
	メモリカードに保存できない	メモリカードの容量がいっぱいではありませんか。	容量を確認し、空きのあるメモリカードをお使いください。
		SD メモリーカードをご使用の場合、ライトプロテクト（書き込み禁止）状態になっていませんか。	ライトプロテクト（書き込み禁止）を解除してください。
	ハードディスクに保存できない	ハードディスクの容量がいっぱいではありませんか。	不要なデータをハードディスクから削除してください。
静止画	静止画が表示できない	静止画が壊れているか、サポートされていない形式ではありませんか。	表示できるデータ形式を確認してください。（☞ 本書 61 ページ「表示できる静止画データ」）
動画	動画が再生できない	データが壊れているか、サポートされていない形式ではありませんか。	再生できるデータ形式を確認してください。（☞ 本書 62 ページ「再生できる動画データ」）
	再生中に画面が乱れたり止まったりする	データのビットレートが高い可能性があります。	
	再生中に音が途切れる		
	音が出ない	音声コーデックの形式がサポートされていない可能性があります。	

こんなときは		ここをチェック	こうしてください
音楽	音楽が再生できない	データが壊れているか、サポートされていない形式ではありませんか。	再生できるデータ形式を確認してください。（☞ 本書 64 ページ「再生できる音楽データ」）
		音量が「0」になっていませんか。	音量を大きくしてください。
		ヘッドホンプラグはヘッドホン出力コネクタに奥まで押し込まれていますか。	ヘッドホン出力コネクタの接続を確認してください。
	再生中に音が途切れる	データのビットレートが高い可能性があります。	再生できるデータ形式を確認してください。（☞ 本書 64 ページ「再生できる音楽データ」）
整理	コピーができない	コピー先のハードディスクやメモリカードがいっぱいではありませんか。	コピー先がハードディスクの場合は、不要なデータをハードディスクから削除してください。 コピー先がメモリカードの場合は、容量を確認し、空きのあるメディアをお使いください。
	削除ができない	画像やフォルダが「保護」されていませんか。	画像やフォルダの保護を解除してください。（☞ 電子 65 ページ「保護を解除するときは」）
印刷	印刷できない	プリンタとの接続が外れていませんか。	正しく接続し直してください。（☞ 本書 48 ページ「プリンタに接続する」）
		プリンタの電源がオフになっていませんか。 プリンタは本製品に対応していますか。	プリンタの電源をオンにしてください。 対応プリンタを確認してください。 （☞ 本書 47 ページ「使用できるプリンタ」） 対応していないプリンタは使用できません。
		バッテリがなくなっていませんか。	バッテリ残量を確認してください。 （☞ 本書 20 ページ「バッテリ残量を確認するには」） バッテリがなくなると、印刷できないことがあります。[バッテリアイコン] が表示されたときは、AC アダプタを接続してお使いになるか、バッテリを充電してください。
	用紙が選択できない	–	対応用紙を確認してください。 （☞ 電子 97 ページ「対応用紙と印刷モードについて」）
	印刷がかすれたり、変な色で印刷されたりする	–	プリンタ側で、ヘッドクリーニングやギャップ調整など必要な対処を行ってください。

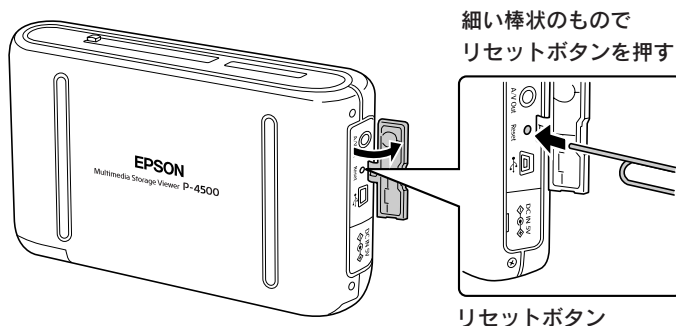
こんなときは		ここをチェック	こうしてください
パソコン	パソコン側から本製品が認識できない	対応していないOSではありませんか。	対応OSを確認してください。（☞ 本書25ページ「使用できるパソコン」） 対応していないOSでは認識できません。
テレビとの接続	テレビに画像が表示されない	接続が外れていませんか。	正しく接続し直してください。（☞ 本書51ページ「テレビを接続する」）
		テレビのチャンネルは正しいですか。	テレビのチャンネルや、テレビとビデオの切り替えなどを確認してください。
		ビデオ出力信号が「ＰＡＬ」になっていませんか。	一般に、日本国内や米国でお使いいただくときは「NTSC」に設定します。 （☞ 電子 100ページ「ビデオ信号」）
		指定外のビデオケーブルを使用していませんか。	ビデオケーブルの仕様をご確認ください。（☞ 電子 88ページ「動作確認済みのビデオケーブル」）
その他	操作できない ※液晶モニタに「砂時計」が表示されているときは、本製品がデータ処理などを行っていることを示しています。この場合は、しばらくお待ちください。	操作を受け付けない状態ですか。	何らかの原因により、本製品が不安定な状態になりました。リセットしてください。（☞ 本書58ページ「リセットのしかた」）
		「情報取得中…」と表示されていませんか。	パソコン接続後は、本製品のハードディスクのチェックを行うため、数分間操作できないことがあります。
		バッテリ残量がなくなっていませんか。	バッテリ残量を確認してください。 （☞ 本書20ページ「バッテリ残量を確認するには」） バッテリがなくなっているときは、ACアダプタを接続してお使いになるか、バッテリを充電してください。
		本体がホールド状態になっていませんか。	本体のホールドを解除してください。
	リモコンが操作できない	リモコンがホールド状態になっていませんか。	リモコンのホールドを解除してください。
	本製品に保存されているはずのデータが表示されない	本製品の管理情報が壊れた可能性があります。この場合は、エプソン修理センターまでご連絡ください。	
	ショートカットが消えたり、タグアルバムが開けなくなった	言語の設定を変更しませんでしたか。	言語の設定を変更すると、既存のファイルやフォルダにアクセスできなくなったり、タグなどの情報が消えてしまったりすることがあります。 言語の設定を変更する場合は注意してください。

こんなときは		ここをチェック	こうしてください
その他	プライベートフォルダ用のパスワードを忘れてしまった	－	「セットアップ」-「ファイル操作」-「パスワード設定」で、「5555」「7777」「3333」の順で入力してください。「パスワードを初期化しますか？」という画面が表示されます。「はい」を選択すると、パスワードが初期化され「0000」に戻ります。
	データを削除しても、ハードディスクの空き容量が増えない	パソコンからの操作でビューワ内のデータを削除しませんでしたか。	パソコンからの操作でビューワ内のデータを削除すると、データはビューワ内のごみ箱に移動するだけで、データ自体は残っています。ハードディスクの空き容量を増やしたいときは、ビューワをパソコンに接続して、パソコンのごみ箱を空にしてください。

リセットのしかた

何らかの原因により本製品が不安定な状態になったときは、下図のように「リセット」を行います。リセットすると、本製品が再起動します。

！注意

シャープペンシルの芯など、折れやすい素材でリセットボタンを押さないでください。

参考

リセットをしても、本製品に保存されているデータは消えません。また、各種の設定も保持されます。

保管するときは

長期間使用しないとき

長期間使用しないときは以下のように保管してください。

バッテリを取り外す

長期間お使いにならないときは、バッテリ容量を半分程度にしてからバッテリを取り外してください。取り付けたままにしていると、過放電によりバッテリが使用できなくなることがあります。また、取り外したバッテリは涼しい場所に保管してください。

磁気や電磁波の影響を受ける場所に置かない

強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境で保管しないでください。データが壊れたり消失することがあります。

使用しないときのデータについて

長期間お使いにならないときは、以下の点にご注意ください。

日付と時刻	バッテリがなくなってから約 1 日経過すると、日付と時刻はリセットされ、購入時の設定（2006 年 1 月 1 日 00:00）に戻ります。
保存されたデータ	バッテリがなくなっても、保存しているデータは消えません。次回、電源をオンにすると前回の状態で表示されます。

お手入れのしかた

良好な状態でお使いいただくために、必要に応じて次のようなお手入れをしてください。

⚠警告

本製品のお手入れの際は、必ず AC アダプタを取り外してください。感電のおそれがあります。

本体のお手入れ

電源がオフになっていることを確認し、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

!注意

ベンジンやシンナーなどの有機溶剤、アルコールなどの揮発性薬品を染み込ませた布で拭かないでください。本体表面の文字が消えたり、本体が色落ちすることがあります。

液晶モニタのお手入れ

電源がオフになっていることを確認し、中性洗剤を染み込ませてしっかり絞った柔らかい布で軽く拭いてください。

!注意

ティッシュペーパー、乾いた布、中性以外の洗剤は使用しないでください。液晶モニタの表面に傷がつき、表示が見にくくなる可能性があります。

AC アダプタのお手入れ

電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

バッテリのお手入れ

バッテリの端子部に付着した汚れは、乾いた柔らかい布できれいにふき取り 、常にきれいな状態でお使いください 。バッテリ接点が汚れていると、バッテリ寿命が短くなる場合があります。

!注意

- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤、アルコールなどの揮発性薬品は、絶対に使用しないでください。変形、変質するおそれがあります。
- 本製品のバッテリ室内部は、絶対に拭かないでください。故障のおそれがあります。

表示／再生できるデータ

表示できる静止画データ

以下の形式の静止画データを表示できます。

データ形式	拡張子	詳細
JPEG (Exif)	jpg、 jpeg、jpe	デジタルカメラで使われる標準画像形式 ・Exif Version1.0 / 2.0 / 2.1 / 2.2 / 2.21 準拠 ・DCF1.0 / 2.0 準拠
RAW	erf	エプソン製デジタルカメラの RAW データ
	crw、cr2	キヤノン製デジタルカメラの RAW データ
	nef	ニコン製デジタルカメラの RAW データ
	mrw	コニカミノルタ製デジタルカメラの RAW データ
	pef	ペンタックス製デジタルカメラの RAW データ
	orf	オリンパス製デジタルカメラの RAW データ
	dng※1	アドビシステムズが推奨する RAW データ形式

※ 1: DNG フォーマットは、Adobe DNG Converter または Camera Raw を使用し、JPEG プレビューを含む形式で変換された DNG ファイルをサポートしています。JPEG プレビューが含まれていない DNG ファイルや、カメラ内で作成された DNG ファイルは、画像が表示できない場合があります。

!注意

本製品では上記の形式以外の静止画データは表示できません。
(Exif 情報をもたない JPEG ／ TIFF ／上記以外の RAW ／プログレッシブ JPEG ／ BMP ／ GIF ／ PICT ／ PNG などは表示できません。)

RAW データの表示について

本製品は、以下のデジタルカメラ※1 で撮影した RAW データのサムネイル／スクリーンネイル※2 を表示することができます。

メーカー	機種
エプソン	R-D1 ／ R-D1s
ニコン	D1H ／ D2H ／ D2Hs ／ D1X ／ D2X ／ D50 ／ D70 ／ D70s ／ D100 ／ D200
キヤノン	EOS: D30 ／ D60 ／ 5D ／ 10D ／ 20D ／ 30D ／ Kiss Digital ／ Kiss Digital N ／ 1D Mark II ／ 1D Mark II N ／ 1Ds Mark II
コニカミノルタ	α -7 DIGITAL ／α Sweet DIGITAL
ペンタックス	＊ ist D ／＊ ist Ds ／＊ ist DL ／＊ ist Ds2 ／＊ ist DL2
オリンパス	E-1 ／ E-300 ／ E-330 ／ E-500

※ 1: 対応デジタルカメラの最新情報については、エプソンのホームページ (http://www.epson.jp) でご確認ください。
※ 2: RAW フォーマットで撮影された画像を簡易的に表示するもので、RAW データそのものを表示するものではありません。

なお、RAW データは簡易表示となるため、印刷機能には対応していません。

付録

再生できる動画データ

本製品では以下の形式の動画データを再生できます。

拡張子	動画コーデック	音声コーデック	記録品質
mov	MPEG4※1	AAC	720 × 480（30fps） 720 × 576（25fps） ※5
	MPEG4※1	PCM	720 × 480（30fps） 720 × 576（25fps） ※5
	MJPEG	G.711(μLaw, ALaw)	720 × 480（30fps） 720 × 576（25fps） 320 × 240（60fps）
	MJPEG	PCM	720 × 480（30fps） 720 × 576（25fps） 320 × 240（60fps）
	MPEG4	ADPCM (G.726, IMA ADPCM)	720 × 480（30fps） 720 × 576（25fps）
avi	MJPEG	G.711(μLaw, ALaw)	720 × 480（30fps） 720 × 576（25fps） 320 × 240（60fps）
	MJPEG	PCM	720 × 480（30fps） 720 × 576（25fps） 320 × 240（60fps）
	MJPEG	ADPCM (G.726, IMA -ADPCM)	720 × 480（30fps） 720 × 576（25fps） 320 × 240（60fps）
avi div divx	DivX※2	MPEG Audio（MPEG1 / 2 Layer I / II / III, MPEG 2.5 Layer III）	720 × 480（30fps） 720 × 576（25fps） ※6
	DivX	PCM	720 × 480（30fps） 720 × 576（25fps） ※6
asf	MPEG4※3	ADPCM	720 × 480（30fps） 720 × 576（25fps） ※5
mp4	MPEG4	AAC	720 × 480（30fps） 720 × 576（25fps） ※5

拡張子	動画コーデック	音声コーデック	記録品質
mpg mpe	MPEG2※4	PCM	720 × 480（30fps） 720 × 576（25fps） 8Mbps※7
	MPEG2※4	MPEG Audio (MPEG1 / 2 Layer I / II / III, MPEG 2.5 Layer III)	720 × 480（30fps） 720 × 576（25fps） 8Mbps※7
vob	MPEG2※4	PCM	720 × 480（30fps） 720 × 576（25fps） 8Mbps※7
mod	MPEG2※4	PCM	720 × 480（30fps） 720 × 576（25fps） 8Mbps※7
	MPEG2※4	MPEG Audio (MPEG1 / 2 Layer I / II / III, MPEG 2.5 Layer III)	720 × 480（30fps） 720 × 576（25fps） 8Mbps※7

※ 1 Advanced Simple Profile
※ 2 Home Theater Profile
※ 3 SD-Video
※ 4 プログレッシブ、インターレース両対応。MPEG1 含む。
※ 5 VBR（可変ビットレート）の動画の場合は、以下の品質に対応しています。
・4Mbps（平均）
・8Mbps（ピーク）
※ 6 VBR（可変ビットレート）の動画の場合は、以下の品質に対応しています。
・4Mbps（平均）
・16Mbps（ピーク）
※ 7 VBR（可変ビットレート）の動画の場合は、以下の品質に対応しています。
・8Mbps（平均）
・12Mbps（ピーク）

- 上記形式であっても、ファイルによっては本製品で再生できない場合があります。
- Real Video と OGM は再生できません。
- WMV は、本製品への転送時に Epson Link2 で形式を変換できます。

付録

再生できる動画データのサイズ

本製品で再生できる 1 つの動画データのサイズは、最大 2GB です。

再生できる音楽データ

本製品では以下の形式の音楽データを再生できます。

拡張子	音声 Codec	最大ビットレート
m4a	AAC（MPEG4）	320kbps（48KHz、16bit、ステレオ）
mp3	MP3	320kbps（48KHz、16bit、ステレオ）

！注意

- 本製品では上記の形式以外の音楽データは再生できません。
  （MPEG2 AAC ／ wav ／ cda ／ aif ／ aifc ／ aiff ／ au ／ snd ／ m4p ／ mpc ／ ogg／wma／ac3／vqf／vql／ATRAC／ATRAC3／ape などは再生できません。）
- WMA と WAV は、パソコンから本製品へのデータ転送時に、Epson Link2 で形式を変換できます。（Windows のみ）
- 著作権保護付きの音楽データは、再生できません。

再生できる音楽データのサイズ

本製品で再生できる 1 つの音楽データのサイズは、最大 100MB です。

本製品の仕様

型番	P-2500
外形寸法（本体）	148.4mm（幅）× 85.2mm（高さ）× 32.6mm（奥行き） ※突起部含まず。
質量	約 433g ※バッテリ含む、AC アダプタ・メモリカード含まず。
内部電源 （リチウムイオンバッテリ）	型番：PALB3
	容量：2600mAh
	電圧：3.7V 質量：約 54g 充電回数：300 回以上（20℃時） 充電時間：約 3.5 時間（非動作時） 保存温度：－ 20℃～ 40℃ ※長時間保存の場合は涼しい場所に保管してください。
外部電源 （専用 AC アダプタ）	型番：A351H 最大消費電力：18W 入力：AC100V ～ 240V、0.3 ～ 0.1A、50 ～ 60Hz 出力：DC 5 V 2.3A
ハードディスク	2.5 型 40GB（ユーザー領域：36.5GB）
駆動時間 （満充電時）	※以下の使用時間は、使用するメモリカード、ファイル数、使用温度その他の状況によって異なります。 • スライドショー　約 3.1 時間（工場出荷時設定） • 動画再生時（ヘッドホン使用時）　約 3.5 時間（2Mbps、MPEG4 動画再生時） • 音楽再生時（ヘッドホン使用時）　約 6.8 時間（128kbps、MP3 音楽再生時）
スピーカー	ダイナミック型（モノラル）
液晶モニタ	3.8 型、約 26 万色、透過型低温ポリシリコン TFT 液晶、 640 × 480 ドット（ドットピッチ 0.12mm）
対応メモリカード	コンパクトフラッシュカード（TYPE Ⅱ 3.3V 対応のみ） マイクロドライブ SD メモリーカード（2GB まで） MMC（マルチメディアカード）
対応プリンタ	PM-A700、PM-A750、PM-A820、PM-A850、PM-A870、PM-A890、PM-A900、PM-A920、PM-A950、PM-A970、PM-D600、PM-D750、PM-D770、PM-D800、PM-D870、PX-D1000、PM-G850、PM-G4500、PM-T990、PX-A650、PX-A720、E-100、E-150、E-200、E-300、E-500、E-700 （☞ 本書 47 ページ「使用できるプリンタ」）
表示可能画像	JPEG 形式（プログレッシブ形式を除く）、RAW 形式（NEF、CRW、CR2、ERF、MRW、PEF、ORF、DNG） （☞ 本書 61 ページ「表示できる静止画データ」）
再生可能動画	MOV 形式、AVI 形式、ASF 形式、MP4 形式、MPG 形式、VOB 形式、MOD 形式（☞ 本書 62 ページ「再生できる動画データ」）

再生可能音楽	MP3 形式、MPEG4AAC 形式 （☞ 本書 64 ページ「再生できる音楽データ」） ただし、著作権保護付きの音楽ファイルは再生できません。 ※WMA 形式と WAV 形式は、Epson Link2 を使用して本製品に取り込むと再生可能な形式に変換されます。（Windows のみ）
使用環境	温度：（動作時）5℃～ 35℃ （非動作時）－ 20℃～ 60℃ 湿度：（動作時、非結露）30%～ 80% （非動作時、非結露）10%～ 80% 高度：（動作時）3048m / 10000ft 以下 （非動作時）12192m / 40000ft 以下
対応 OS	Windows Me / 2000 / XP、Mac OS X v10.2 以降
インターフェイス	CF カードスロット（TYPE II）× 1 SD メモリーカードスロット× 1 USB2.0（mini-B）インターフェイスコネクタ× 1 ビデオ出力コネクタ（4 極ミニジャック）× 1 ヘッドホン出力コネクタ（4 極ミニプラグ）× 1 AC アダプタコネクタ× 1
カードスロット	CF TypeII スロット： CF + and CompactFlash Specification Revision 3.0 準拠。コンパクトフラッシュ、マイクロドライブ対応。3.3V 対応。5V は非対応。 SD メモリーカードスロット： SD Specifications PART1.PHYSICAL LAYER Specification Version 1.10 準拠。SD メモリーカード、マルチメディアカード（The MultiMediaCard System Specification Version 4.0 準拠）対応。

用語解説

以下に説明されている用語の中には、エプソン独自の用語で一般的に使われている語意とは多少異なるものがあります。

■ DCF 規格

カメラファイルシステム規格（Design rule for Camera File system）の略で、いろいろなデジタルカメラの再生互換を目的として標準化された規格です。DCF 対応のデジタルカメラ同士なら、他のデジタルカメラで撮影した画像でも自分のデジタルカメラで見ることができます。

■ Exif

Exchangeable Image File Format の略で、富士フイルムが開発し、JEIDA（日本電子工業振興協会）で規格された画像フォーマットです。汎用画像フォーマットである「TIFF」と「JPEG」をベースにして、デジタルカメラ向けの固有情報と運用規定を追加しています。

■ JPEG データと RAW データ

【JPEG データ】

画像データを 1/5 ～ 1/50 のサイズに圧縮するファイル形式で、デジタルカメラのほとんどがこの画像形式を採用しています。現像処理はデジタルカメラが行うので、画像データをそのままパソコンなどで扱え、また、ファイルサイズが小さいので多量のデータを容易に扱うことができます。ただし、圧縮率が大きければ大きいほど画質は劣化し、また、圧縮したデータは元の状態には戻すことはできません。

【RAW データ】

撮像素子で受けた光の情報を処理せずに生のまま（＝ RAW）保存したデータで、パソコンで見たり、出力するには、現像処理が必要になります。
自分で現像処理を行うので、画像のカラーバランス、シャープネス、コントラストなどのパラメータを思い通りに調整することができます。また、JPEG データをフォトレタッチソフトで修整するのとは違い、画像データが劣化することもありません。ただし、ファイルサイズが非常に大きく、現像処理も長い時間を要します。

■コーデック

Compressor-Decompressor または Coder-Decoder の略で、映像や音声のデータを特定の形式にエンコード・デコードするためのプログラムです。編集用ソフトウェアやプレーヤーから呼び出されて使われます。動画の再生には作成に使用したプログラムと同じか互換性のあるコーデックが必要になります。動画はデータ量が莫大なため、データを圧縮しないと保存や転送など実用的に取り扱うことができません。通常の動画は特定の形式に符号化圧縮（エンコード）されており、これを復元（デコード）しながら再生します。

■フレームレート

画面が 1 秒間に何枚の画像を表示しているかを示します。単位は、fps（エフピーエス・Frame Per Second）で 、たとえば「30fps」は 1 秒間に 30 枚の画像が表示されるという意味です。フレームレートが高いほど動画は滑らかに再生されますが、データ量が大きくなります。

■ビットレート

動画を再生している際の、1 秒間あたりの情報量を示します。単位は、bps（ビーピーエス・Bit Per Second）で、動画と音声の両方の情報量を加算した数値です。ビットレートが高いほど、高画質・高音質になりますが、データ量が大きくなります。

■サンプリングレート

アナログ信号からデジタル信号への変換（AD 変換）を 1 秒間に何回行うかを示しています。
単位は「Hz」で、音声ファイルについて用いられます。
ある音を正確に記録し、再現するには、その音の周波数の倍程度の周波数でサンプリングする必要があるといわれています。

商標・規制などについて

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

！注意

海外旅行の際は本製品を手荷物として機内に持ち込んでください。空港での荷扱いによっては大きな衝撃を受け、本体が破損したり、データが壊れることがあります。

著作権について

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

ライセンスについて

●ISO 準拠の MPEG4 の再生について
本製品は、使用者が私的且つ非商業的用途で、(i) MPEG-4 ビジュアルスタンダード（MPEG-4 VISUAL STANDARD）に準拠する映像（MPEG-4 映像”MPEG-4 VIDEO”）をエンコードすること、および / または (ii) 使用者の私的且つ非商業的活動によりエンコードされた、および / または MPEG-4 映像を提供することについて MPEG LA よりライセンスを受けた映像プロバイダより得られた MPEG-4 映像をデコードすること、について MPEG-4 ビジュアル特許ポートフォーリオライセンス（MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE）の下にライセンスを受けた製品です。上記以外のいかなる用途についてもライセンスの許諾および黙示の許諾はなされておりません。宣伝、内部および商業使用ならびにライセンスに関する追加情報については、MPEG LA, LLC より取得することができます。
詳しくは <HTTP://WWW.MPEGLA.COM> をご覧ください。

●MP3（MPEG-1 Layer 3）再生について
MPEG レイヤー 3 オーディオ技術（MPEG Layer-3 audio coding technology）はフラウンホッファー IIS（Fraunhofer IIS）およびトムソン社よりライセンスされた技術です。

商標について

●Macintosh は Apple Computer,Inc. の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。

●Microsoft®Windows® Millennium Edition operating system 日本語版、Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版の表記について本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows Me、Windows 2000 と表記しています。Microsoft®Windows® XP Home Edition operating system 日本語版、Microsoft®Windows® XP Professional operating system 日本語版の表記について本書中では、Windows XP と表記しています。また、Windows Me、Windows 2000、Windows XP を総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は、「Windows Me / 2000」のように Windows の表記を省略することがあります。

本製品が対応している Mac OS のバージョンは以下の通りです。
Mac OS X v10.2、v10.3、v10.4
本書中では、上記各オペレーティングシステムをまとめて「Mac OS X」と表記していることがあります。また、アップルコンピュータ社製のコンピュータを総称して「Macintosh」と表記していることがあります。

●Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
●Compact Flash（コンパクトフラッシュ）は、米国 SanDisk Corporation の商標です。
●SD メモリーカード、SD ロゴは、（株）東芝、松下電器産業（株）、米国 SanDisk Corporation の商標です。
●商標 DPOF は、「デジタルカメラのプリント情報に関するフォーマット、DPOF」に従った製品であることを示すもので、キヤノン株式会社、イーストマンコダック社、富士写真フイルム株式会社、松下電器産業株式会社が仕様書 Version1.00 に対する著作権を保有しています。
●DCF は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で標準化された「Designrule for Camera File system」の規格略称です。
●MultiMediaCard は、ドイツ Infineon Technologies AG 社の商標であり、MMCA（MultiMediaCard Association）へライセンスされています。
●DivX、DivX Certified、および関連するロゴは、DivX, Inc. の商標です。これらの商標は、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。
●本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
●QuickTime and the QuickTime logo are trademarks or registered trademarks of Apple Computer, Inc., used under license.

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI ）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬間電圧低下について（AC アダプタ使用時）

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C61000-3-2 に適合しております。

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます。以下同じ。）の不具合によってデータの記録、またはコンピュータ、その他の機器へのデータ転送が正常に行えない等、所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートをご案内いたします。

エプソンインフォメーションセンター

エプソン製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。
受付時間：巻末の一覧表をご覧ください。
電話番号：巻末の一覧表をご覧ください。

インターネットサービス

エプソン製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。
エプソンのホームページ：http://www.epson.jp

ショールーム

エプソン製品を見て、触れて、操作できるショールームです。
所在地：巻末の一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

専任のインストラクターがエプソン製品のさまざまな使用方法を楽しく、わかりやすく、効果的にお教えいたします。お問い合わせは巻末の一覧表をご覧ください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。
記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。
◎お買い求めいただいた販売店
◎エプソン修理センター（巻末の一覧表をご確認ください）
受付時間：月曜日～金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）9：00 ～ 17：30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細につきましては、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類	概要	修理代金	
		保証期間内	保証期間外
持込 / 送付 修理	故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、いったんお預かりして修理いたします。	無償	基本料 + 技術料 + 部品代 修理完了品をお届けしたときにお支払いください。
ドア to ドアサービス	• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 • 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア to ドアサービス料金のみ）	有償 （ドア to ドアサービス料金 + 修理代）

データのバックアップについてのご注意

本製品の故障により修理を依頼される場合、バックアップが可能な状態であればデータのバックアップを必ずお取りください。バックアップの取り方について詳細は、「パソコンにビューワのデータをバックアップする」（☞ 電子 18 ページ）を参照してください。
修理状況によっては、データが消失してしまうことや、復元できないことがありますが、本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責も負いません。
データのバックアップ作業および復元作業は、弊社では行っておりません。お客様の責任の下、お客様ご自身で行っていただきますよう、お願いいたします。

マニュアルデータのダウンロードサービス

製品に添付されておりますマニュアル（取扱説明書）の PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。マニュアルを紛失してしまったときなどにご活用ください。
< http://www.epson.jp/guide/camera/ >

索引

※太字→本書　細字→電子マニュアルのページです。

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶カンタンな質問に答えて会員登録。

●カラリオインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

【電話番号】　050-3155-8033

【受付時間】　月～金曜日9:00～20:00　土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）

上記電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しており、一部のPHSやIP電話事業者からはご利用いただけない場合があります。
上記番号をご利用できない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、042-589-5252におかけください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス㈱	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
*修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/support/

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。

【電話番号】　0570-090-090

【受付時間】　月～金曜日9:00～17:30　（祝日、弊社指定休日は除く）

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ（株）の電話サービスの名称です。
*新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電各社へご依頼ください。また、携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州（中国地方を除く）	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
*松本修理センターは365日受付可（平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします）
*ドアtoドアサービスついて詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/support/

○スクール（エプソン・デジタル・カレッジ）講習会のご案内
東京　TEL（03）5321-9738　　大阪　TEL（06）6205-2734
【受付時間】月曜日～金曜日9:30～12:00/13:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
*スケジュールなどはホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/school/

○ショールーム　*詳細はホームページでもご確認いただけます。http://www.epson.jp/showroom/
エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日　9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】月曜日～金曜日　9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

○消耗品のご購入
お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンOAサプライでお買い求めください。
（ホームページアドレスhttp://epson-supply.jpまたはフリーコール0120-251-528）

○FAXインフォメーション　エプソン製品の情報をFAXにてお知らせします。
札幌（011）221-7911　東京（042）585-8500　名古屋（052）202-9532　大阪（06）6397-4359　福岡（092）452-3305

○エプソンディスクサービス
各種ドライバを郵送でお届けします。お申し込み方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

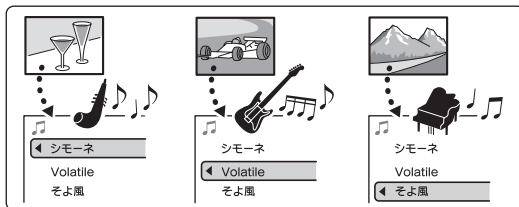
こんなこともできます

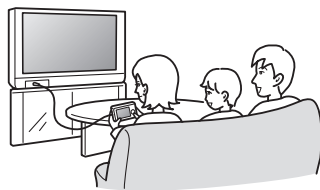
本書でご紹介した使い方以外にも、本製品には、まだまだいろんな楽しみ方があります。
使い方をマスターして、もっと楽しく、もっと便利にビューワを使いこなしましょう。

詳しい説明は、P－2500 操作ガイド（詳細編）<電子マニュアル>に掲載されています。
電子マニュアルを見る方法については、本書24ページをご覧ください。

好きな曲をBGM にしてスライドショーを見ることができます

スライドショーには、「ブレンド」や「タイル」など、映像効果を楽しめるパターンが用意されています。これらの効果を使うと、お手持ちの画像をプロモーションビデオのように映し出すことができます。
（☞電子34ページ「スライドショーを見る」）

自慢の画像を選りすぐり、ぴったりの曲を合わせて見てみましょう。
これはもう、あなたのオリジナル作品です。

イメージに合わせて、
曲を選びます。

完成したオリジナル作品を、みんなで見ましょう。
ビューワをテレビにつなげば、大画面で家族や仲間と一緒に鑑賞できます。

好きな画像をフォルダのアイコンに設定できます

フォルダのアイコンや壁紙を、好きな画像に変更することができます。
（☞電子85ページ「フォルダのアイコンや壁紙を変更する」）

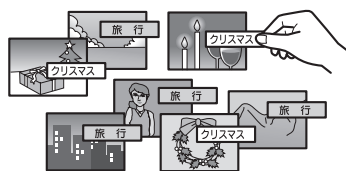
フォルダ内の画像をアイコンにできます。
動画からもお好みのシーンを切り取って、
アイコンに。ひと目で見分けがついて便利です。

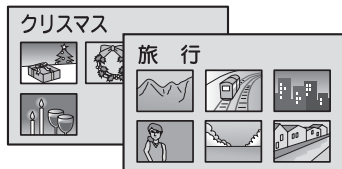
パソコンのデスクトップ画面と同じように、
ビューワのホーム画面の壁紙も変えられます。

こんなこともできます

画像にタグ（付箋）を付けることで、仮想アルバムを簡単に作れます。
各画像があちこちのフォルダに散らばっていても、タグを付けたものだけをまとめて表示できます。
（☞電子79ページ「アルバムを作成する」）

大量の画像データの整理はたいへん！

テーマを決めて、画像にタグを付けます。

画像データに
タグを付けます。

仮想アルバムの完成！
（タグの付いた画像だけが、まとめて表示されます）

＜ビューワの表示＞

タグアルバムを
開きます。
同じ色のタグを
付けたデータのみ
表示されます。

410726800

Printed in XXXXXX XX.XX-XX XXX

Multimedia Storage Viewer™ P-2500
操作ガイド（基本編）
EPSON